

# Lieza Origin

リーザオリジン



FOR ADULT ONLY



**GREAT ACTA**



# Lieza Origin

リーザ オリジン



えっとその…  
ミリルさんを  
助けたあと…とか



ねえ  
エルク

エルクは夢ってある？  
やりたい事、やりたいもの…



ただ…  
復讐にとりつかれて  
戦い続けるのも少し  
疲れたかもな

ミリルを連れ戻し  
アルディアに帰ったら…  
そんな時はビビガの会社でも  
手伝って飛行船でも  
飛ばすかな

そう



…そんなもんないよ  
今までは昔の記憶も  
無かったし

ギルドの仕事も…  
モンスターや犯罪者相手に  
生きるか死ぬか…未来の事なんて  
考えたことも無かった…

そっか…



…ん

そして、できれば…  
あなたの傍で…

でもあなたに会えて  
私は、私自身とやつと向き合える気がするの  
少しずつ、前を見据えて…  
自分の足で歩き出すの  
見えない未来の何かへと…



エルク…  
私も未来のことなんて分からない  
自分の内なる力…他人の畏怖の心…  
運命に怯えて前を向けなかった…



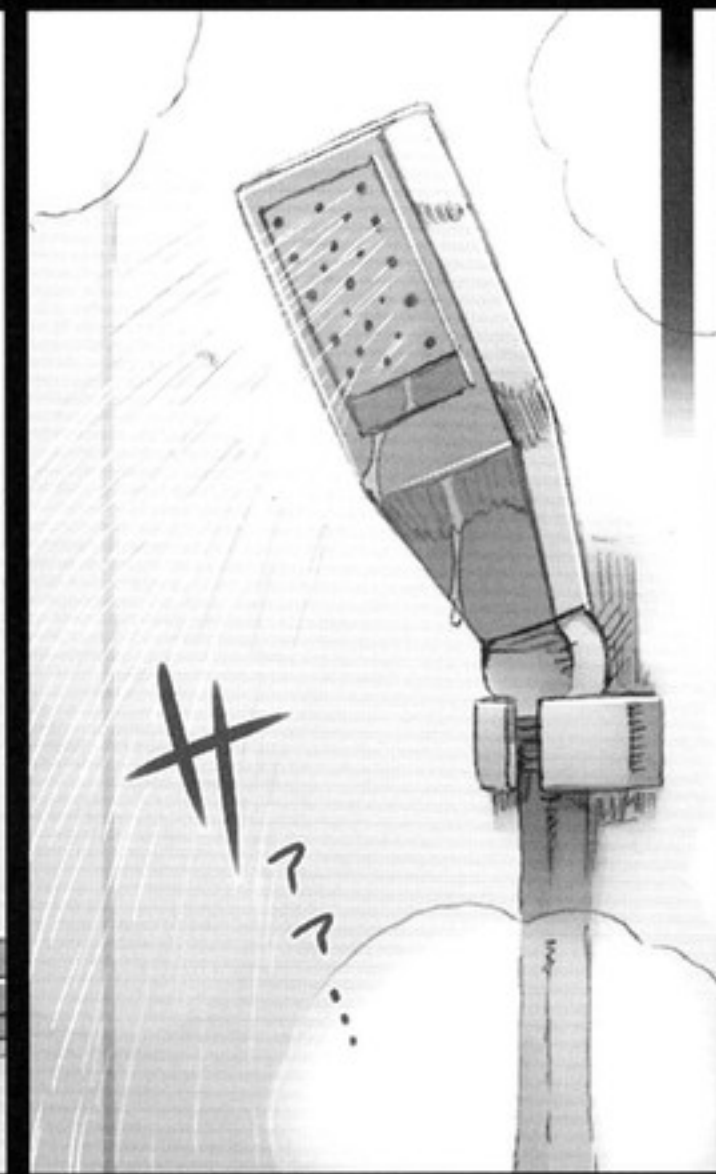
…  
なんてこと…



夢…か

もうずっと…  
昔の思い出…

こんな時に  
思い出すなんて…



だめよ、リーザ…  
こんなんじゃ、お客様に  
顔向けできない…

笑顔で…  
笑顔でいなさや



…  
ひどい顔…



この度は  
ありがとうございます  
ございました



いやこちらこそ！  
お世話になったね  
本当に、色々！

またすぐに予約を  
入れさせてもらうよ  
：それと、法案の件は  
心配要らないよ  
私どもに任せておきなさい

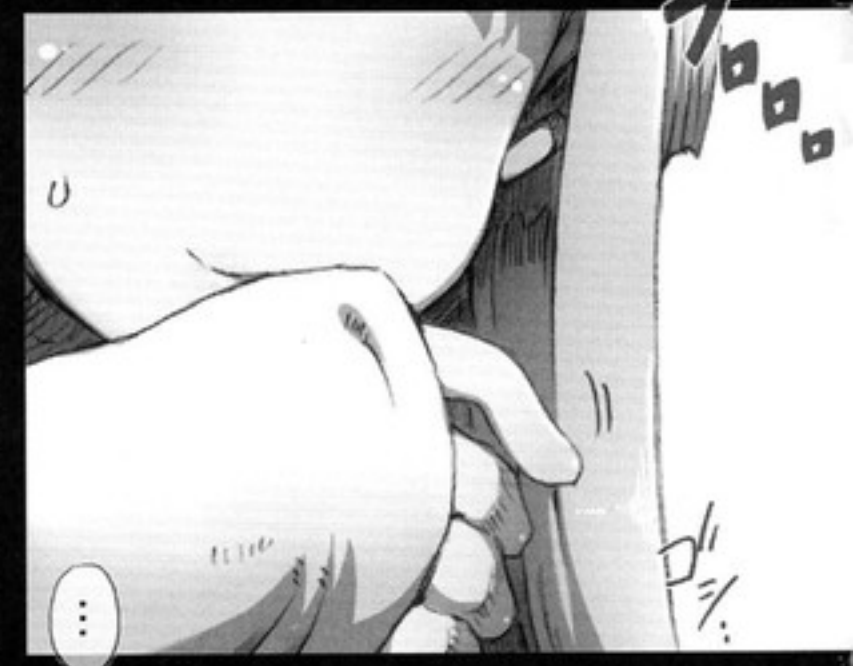
カチャ  
カチャ



ああ、次の機会は  
何カ月後だろうか  
それまで：ふふっ  
溜めに溜めておくからね

ペコリ

ありがとうございます！  
うふふ  
次がとっても楽しみです♥



お疲れ様です、  
リーザさん  
お迎えにありがとうございました



船の方、準備できて  
おりますので  
次の現場へお送り  
させていただきます



：おや？リーザさん  
かなりお疲れと  
みえますが：  
何か契約外の仕事でも  
要求されました？



カチャ..

ザツ



はい…

体調を崩されなどしたら、我々としても大変な痛手なので

そうですか  
もし本当に何かありましたらすぐに言ってください



…いえ、そんなことありませんよ大丈夫です!

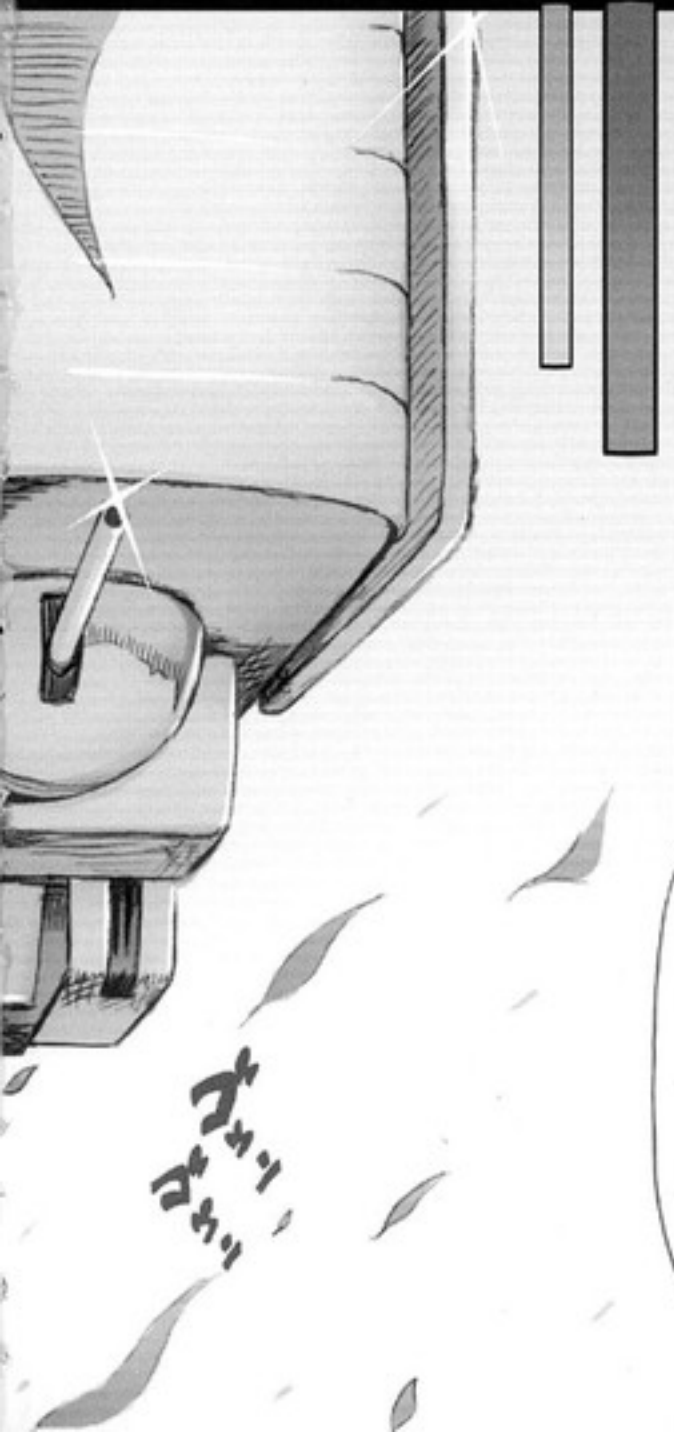


…さて今後のスケジュールなのですが、まずはアルディアのプロディアス市会議員・B氏

5日後からの1週間の契約内容としては普通ですね  
オプション使用なし  
契約人数も『おおむね一人』…

その次が問題なのですが…  
アリバシーヤで大仕事です

アルディアの契約終了後2日後に現地入り…どうしても日程が調整できませんでした  
休憩なしで恐縮なのですが…  
期間は三週間、オプションあり  
薬物・器具などの使用人数は…



グハッ  
グハッ



少し、寄り道して欲しいところがあるんですけど…

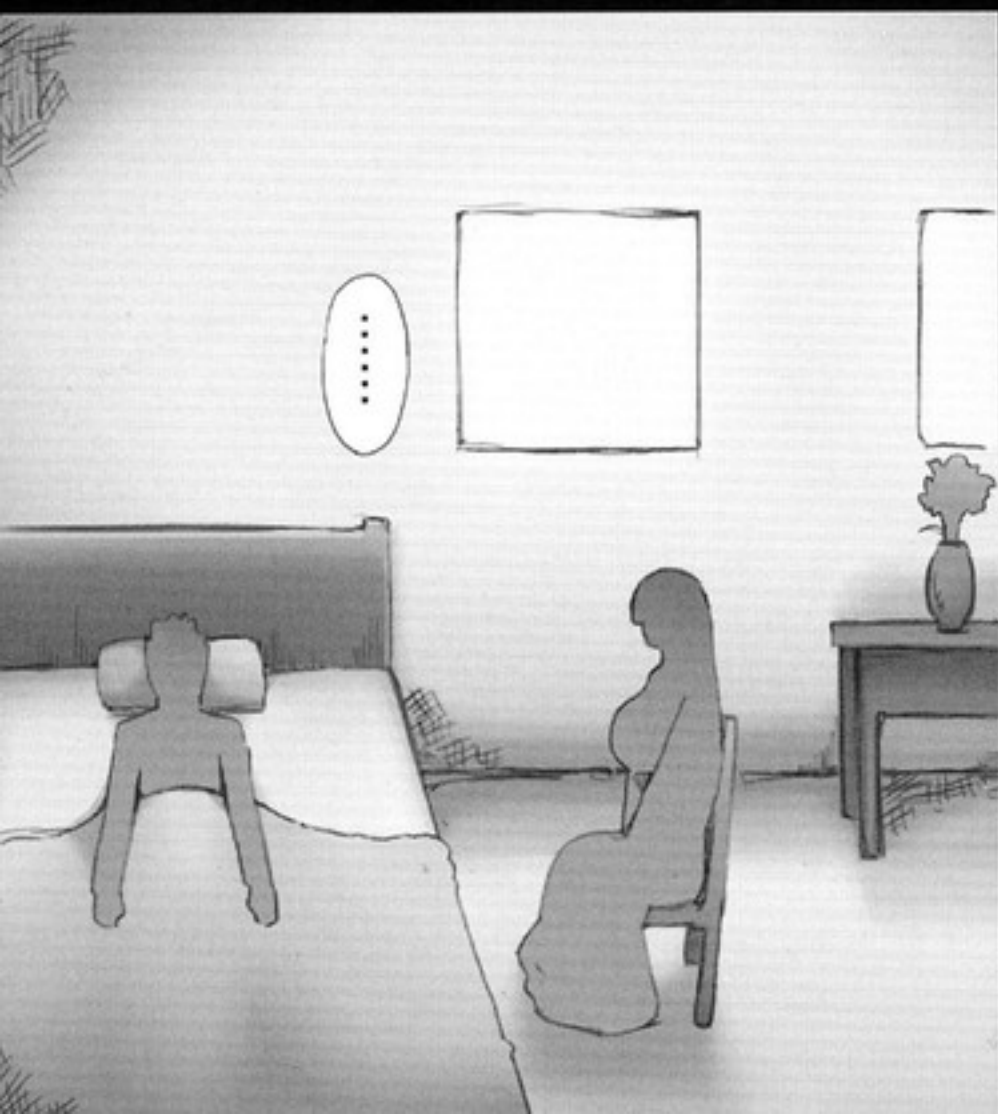


どうでしょう、お疲れのようですしプロディアスにホテルを取りますので、早めに現地入りして契約日まで静養されては…

いえ、それは大丈夫です!

それよりもお願いが





エルク：  
あれからもう2年…いえ  
もうすぐ3年になる  
…まだ目覚めないのね…

何も考えず、  
しゃにむに生きていくだけで  
月日が経つのはこんなにも早い…  
ふと振り返ってみれば  
途方も無い時を歩いてしまったのね

…  
あの運命の日から  
何もかもが変わってしまった  
世界も、日常も、みんなも、  
私も…

…

私の体…  
あなたが見たら  
何て言うかしら

ごめんねエルク  
この数年間、あなたの事を  
思い出してあげられなかった

それは多分、私の心が  
弱いからなのでしょうね  
仕事中あなたの事を  
思ってしまったら…  
きつと、つらすぎて  
耐えられない…

…いや、本当は  
それよりももっと  
恐ろしい理由があるのかも

私はもう…  
汚れきってしまった  
数え切れない程の男の人達に抱かれ…  
体の外にも中にも幾万回も精を受け…

もしあなたが目覚めても  
もう私はあなたの傍には居られない…  
それは遠い昔に覚悟していたこと  
この運命を、私は自分の手で選んだの

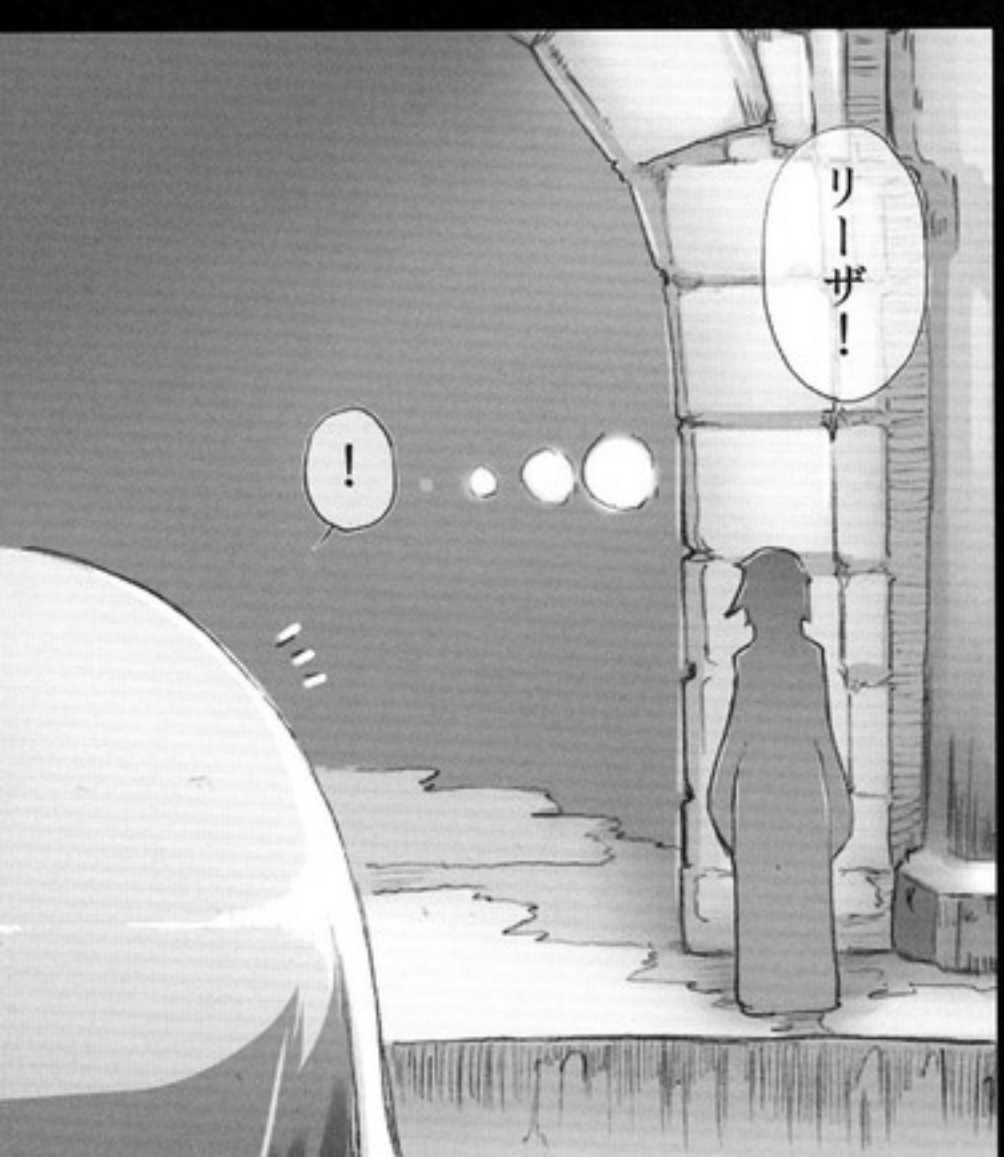
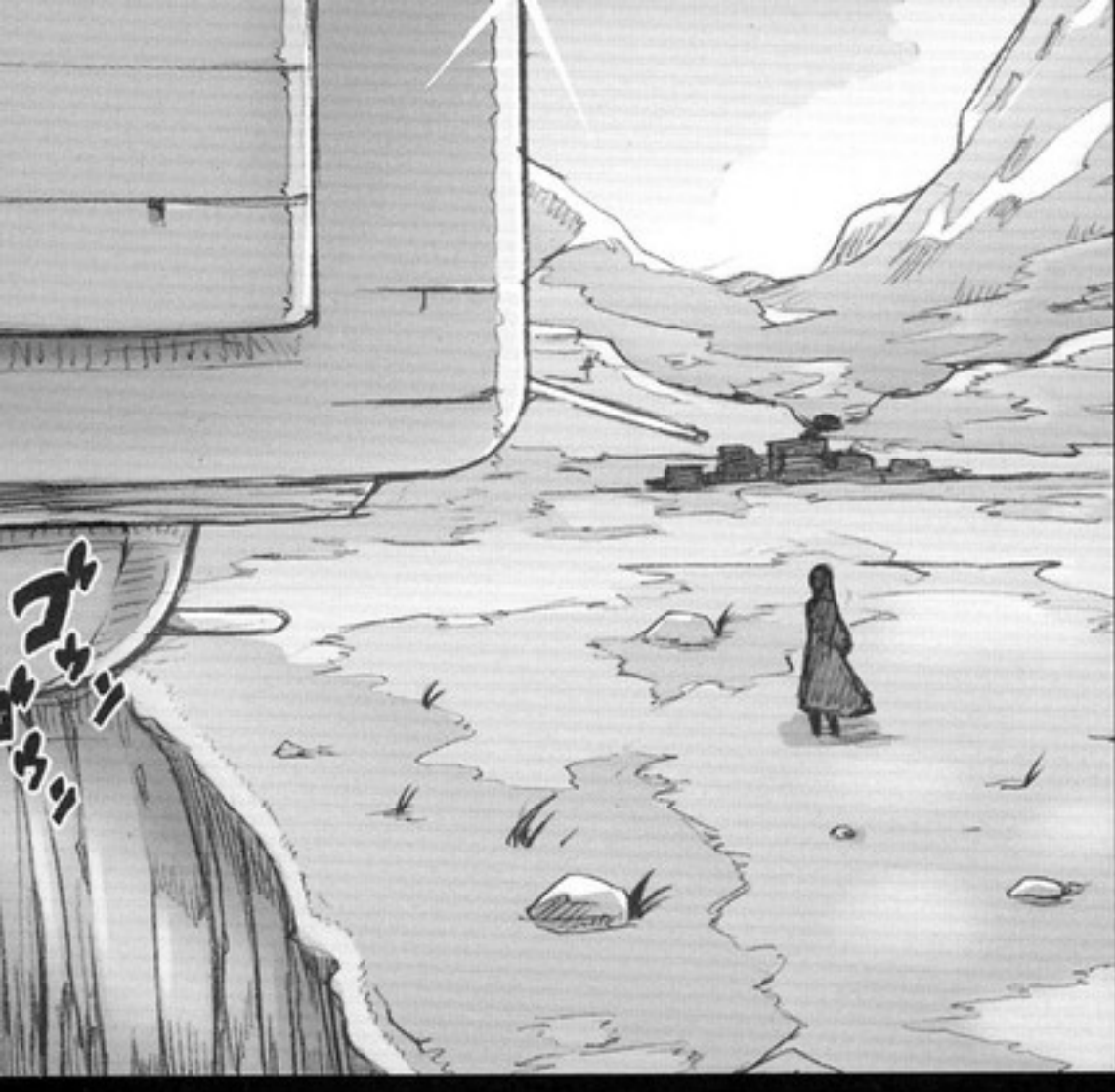
でも昔の私の覚悟した未来と  
今の私の姿とは全然  
想像と違ってた…  
世界の運命へ、この身を  
捧げるつもりでいたのに  
気がつけば私は…

堕落…快楽…本能のまま  
仕事なんてもう関係ない  
ひたすら肉欲に溺れ  
精を、肉棒を  
ひたすら貪り食うだけ…  
浅ましすぎる、  
獣以下の存在…

あっ♡

あはっ  
あッ

あイクっ♡  
マンコ  
いくうっ♡





お久しぶりです!  
もしかして迎えに  
来て頂いたんですか?

ふふ、  
まあちよつと  
休憩がてらね♪



ククルさん!



あなたも適度に  
サボりなさい  
仕事で疲れ  
溜まってるでしょう

男相手にいくら  
真面目にやったって  
別に良いことないから

祭壇から離れて、  
祈禱の方は  
大丈夫なんですか?

ええ、封印の力も安定してるし  
年がら年中祭壇に座ってたら  
飽きるし、体も鈍ってしまうわ



適度にリフレッシュしなきゃ。  
この神殿は広いからね  
時々こう散歩するのよ

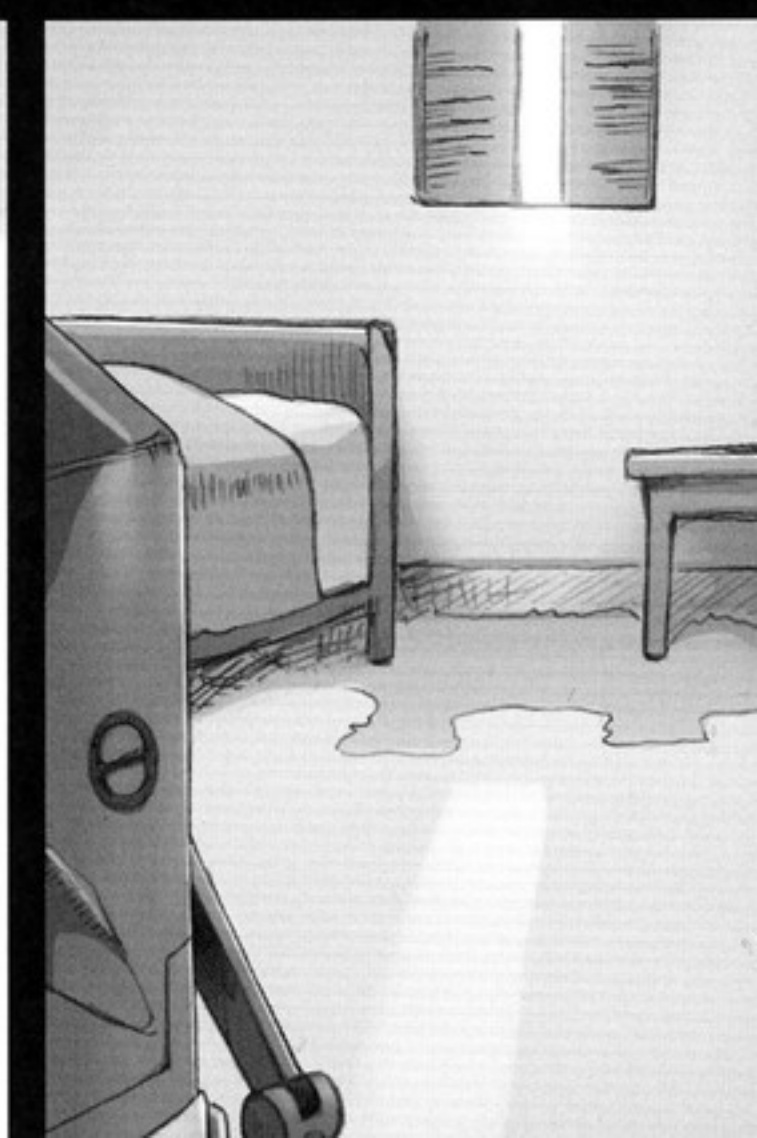
へえ



チーク!  
お久しぶり♪

リーざカ!  
暫くぶりダナ  
元氣そウで何よりだ

ありがと♪





Lieza Origin  
リーザオリジン

数年前—  
西アルディアの辺境  
『白い家』

ここは世界から異能の子供達を拉致し  
強力なキメラ：モンスターへと造り変える  
ロマリアの『キメラ研究所』である  
エルクは仲間達と共に  
幼き日、ここで出会って、別れた  
『ミリル』を救うべく施設へと侵入した

幾多のキメラとの激闘の末  
エルクは最奥部で囚われていた  
ミリルと再開を果たす  
しかし、ミリルはキメラだった

研究所長『ガルアーン』の  
命ずるまま、ミリルは  
エルクへと牙を向ける  
エルクは、異形と化した幼馴染と  
認めたくない現実と  
戦わざるを得なかった…

死闘のさなか、  
ミリルは心を取り戻す  
ガルアーンのコントロールとエルクへの想いの間で  
苦しむミリル：限界を迎えたミリルは  
己の力を暴走し、その体に甚大なダメージを与えた  
戦闘不能となったミリルはエルクの腕に抱かれ  
儚くも奇跡の再会に涙を流した…



しかし奇跡の  
結末は残酷だった



ミリルを用済みとしたガルアーンは  
ミリルの体内の自爆装置を起動  
そしてミリルはエルクの腕の中で  
爆炎と化した…

包囲を突破し、駆けつけた  
リーザたちの目の前に  
惨状が広がっていた



その身に宿る炎の力によってエルクは  
命は失わなかった  
しかし、命を懸けて追ってきた幼馴染の少女の  
壮絶な運命と惨たらしい死は、  
エルクの命よりも大きなものを奪っていった

エルクの心は—  
現実に負け、ミリルと共に死んだ  
エルクは未来と向き合うことをやめ、  
二度と現実へと帰ることは無かった



リーザは、そのことを悟った  
密かに想いを寄せていたその少年は、  
ここで、死んだのだと…



時を同じくして

『白い家』に『アーク』が降り立った  
世界征服を企てる超大国『ロマリア』と秘密裏に戦う  
アークは、白い家を  
ロマリアの研究機関と見抜き、強襲してきたのだ

飛行船『シルバーノア』が爆撃を慣行  
リーザ達はアークと共に、  
崩壊する白い家を後にした  
エルクを治療するため一歩、  
『スメリア』の『ククルの神殿』へ  
そこでリーザ達はアークの足跡を知った

『キメラ研究所』『殉教者計画』…  
ロマリアが世界征服のため  
張り巡らせた数々の伏線  
それと秘密裏に戦うアークと仲間達、  
飛行船シルバーノアの存在を…

傷ついたエルクをククルへと預け、  
そしてリーザ達はアークへと合流  
共にロマリアの脅威と、  
世界の命運をかけて戦うこととなった

リーザはしゃにむに戦った…  
ロマリアの尖兵達を次々魔法でなぎ倒す  
かつてモンスターとも心を通じ合った  
心優しい少女とは比べるべくもない  
今までのリーザとは全てが違っていた

その原動力は『怒り』であった  
リーザはかつて故郷を奪われ、  
家族を奪われ、そして孤独を  
癒してくれた想い人をも今奪われた

その全ての元凶は、  
ロマリアの利己的な計画の一端だった  
リーザは憎しみに燃えた  
心の底から湧き上がる怒りの力の全てを  
魔力に変えて、  
ロマリアの尖兵へとぶつけ続けた…

そして—  
世界各地のキメラ研究所を  
強襲する計画の集大成として  
アークらはロマリア本国内、  
キメラ研究所本部へと踏み入った  
キメラ達を次々なぎ倒し  
ついに所長ガルアーンへと迫った

追い詰められたガルアーンは  
ついに自らをキメラ化…  
人をモンスターと化する  
非人道の限りを尽くしてきたガルアーンは  
その強大な悪意と生み出してきた  
無数の絶望、怨恨、呪いを一身に固めたような  
醜悪な巨大モンスターとなった

アークらは死闘の末  
ついにガルアーンの息の根を止めた  
キメラ研究所本部も全ての設備を破壊され、  
これによりロマリアの世界征服計画の一つ  
キメラ研究は完全に機能を停止した



ガルアーノは倒れ  
リーザは家族の弔いをなしたといえる  
そしてトウヴェイルで待つ  
エルクの無念も晴らしたと：

しかしエルクの意識は未だ戻らない：  
あの運命の日からは半年以上が経過していた  
ククルの治療によって肉体は完治していたが  
心が現実を見る事をやめている



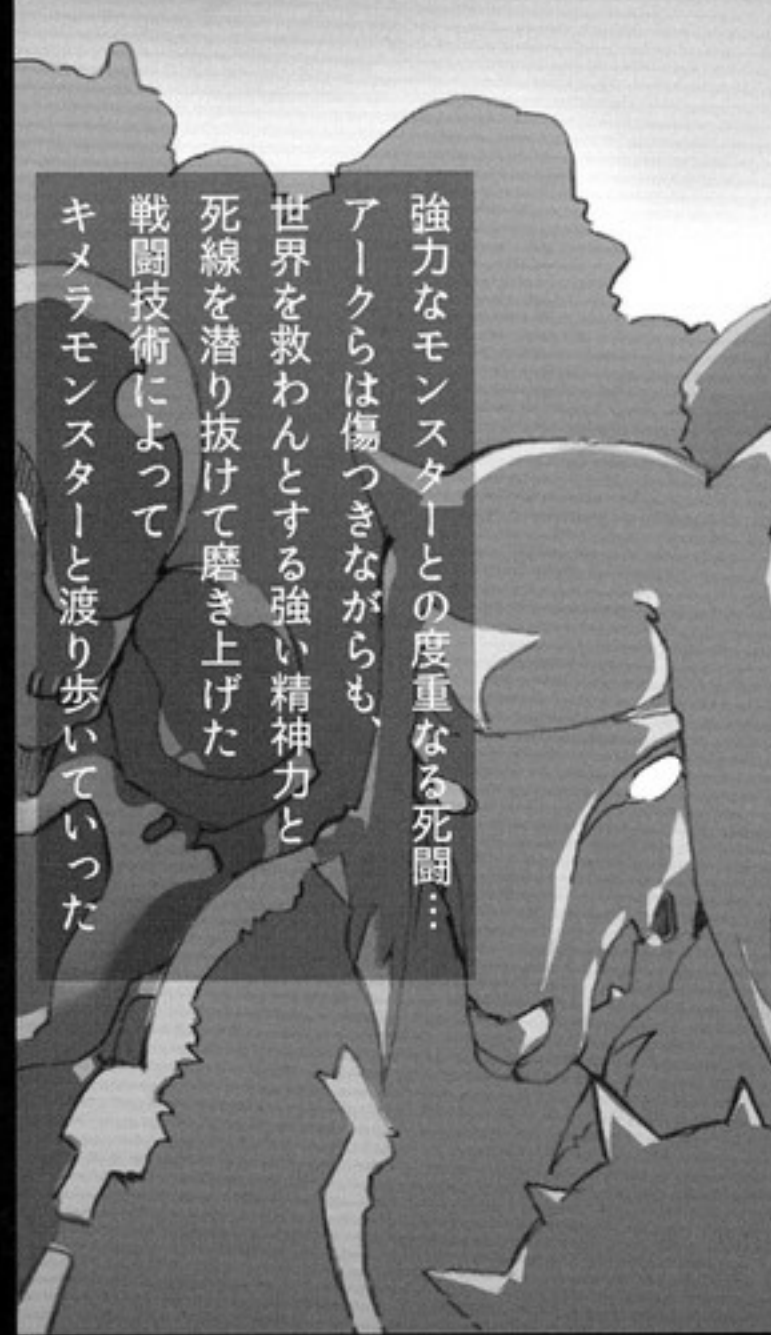
ククルが『彼自身が心の中での戦いに  
打ち勝つしかない』と言った：

リーザは待ち続けた  
エルクは強い、今までずっと  
傍で見ていたから知っている  
ずつと弱い私を守ってくれていた  
エルクの心の強さを、私は信じてる…  
リーザは何ヶ月も何ヶ月も  
待ち続けた

その頃世界は変わらずロマリアの脅威に晒されていた  
計画の一部を破壊したとして、  
他の数々の伏線が世界各地に残っている  
加えて今までのキメラ研究で  
生み出されたモンスターが育ち、  
各地の戦線へ投入され始めた  
むしろロマリアの勢力は増す一方となっている

リーザは再びアークと合流し  
ロマリアの次なる計画を挫く戦いへと  
没入するのであった：

魔力の強い人間を素体とした  
強いキメラを加え入れた  
ロマリア軍の戦闘力は増大し  
アークらはこれまでに無い程の  
苦戦を強いられた



強力なモンスターとの度重なる死闘：  
アークらは傷つきながらも、  
世界を救わんとする強い精神力と  
死線を潜り抜けて磨き上げた  
戦闘技術によって  
キメラモンスターと渡り歩いていった

しかし：  
リーザを異変が襲った  
強すぎるモンスターに歯が立たず  
気持ちも空回りし、  
リーザは度々窮地に陥った

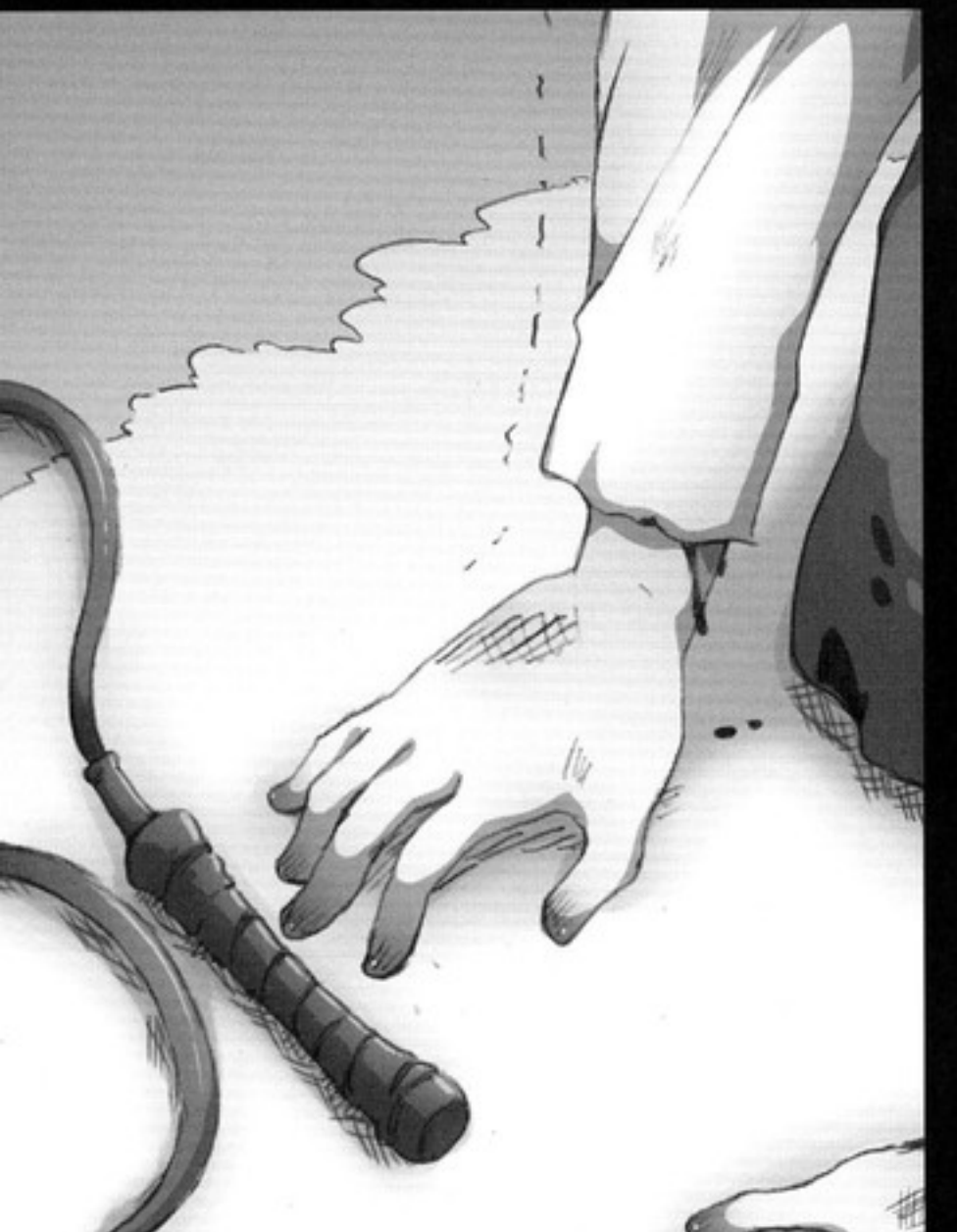


今まで気を張り無理をして戦っていたとはいえ  
元来力の弱い少女である  
それも動物と心を通わせるような  
優しい、そして臆病な：  
これからの敵は、そこから  
精神論で何とかなる相手ではもうなくなっていた

リーザは幾度と無く倒れ、傷ついた  
体も、心も：  
怪我をして蹲り、  
戦えない自分を尻目に  
仲間達はリーザの前に出て、  
必死に戦っている



リーザは自分を不甲斐なく思った：  
身体は動かないのに  
心はロマリアへの憎しみで溢れかえっている  
そのどうしようもなさ、無念さ…  
かつて無い挫折感がリーザを支配しつつあった



やがてリーザはロマリア軍との戦闘へ参加しなくなっていた  
シルバーノアで待機：  
作戦行動へ出るアークらを  
リーザはいつまでも見送っていた



仲間達との距離を感じ  
リーザに孤独感が湧き上がってきた  
自らの弱さが…体と、  
心の弱さが招いた言いようの無い孤独

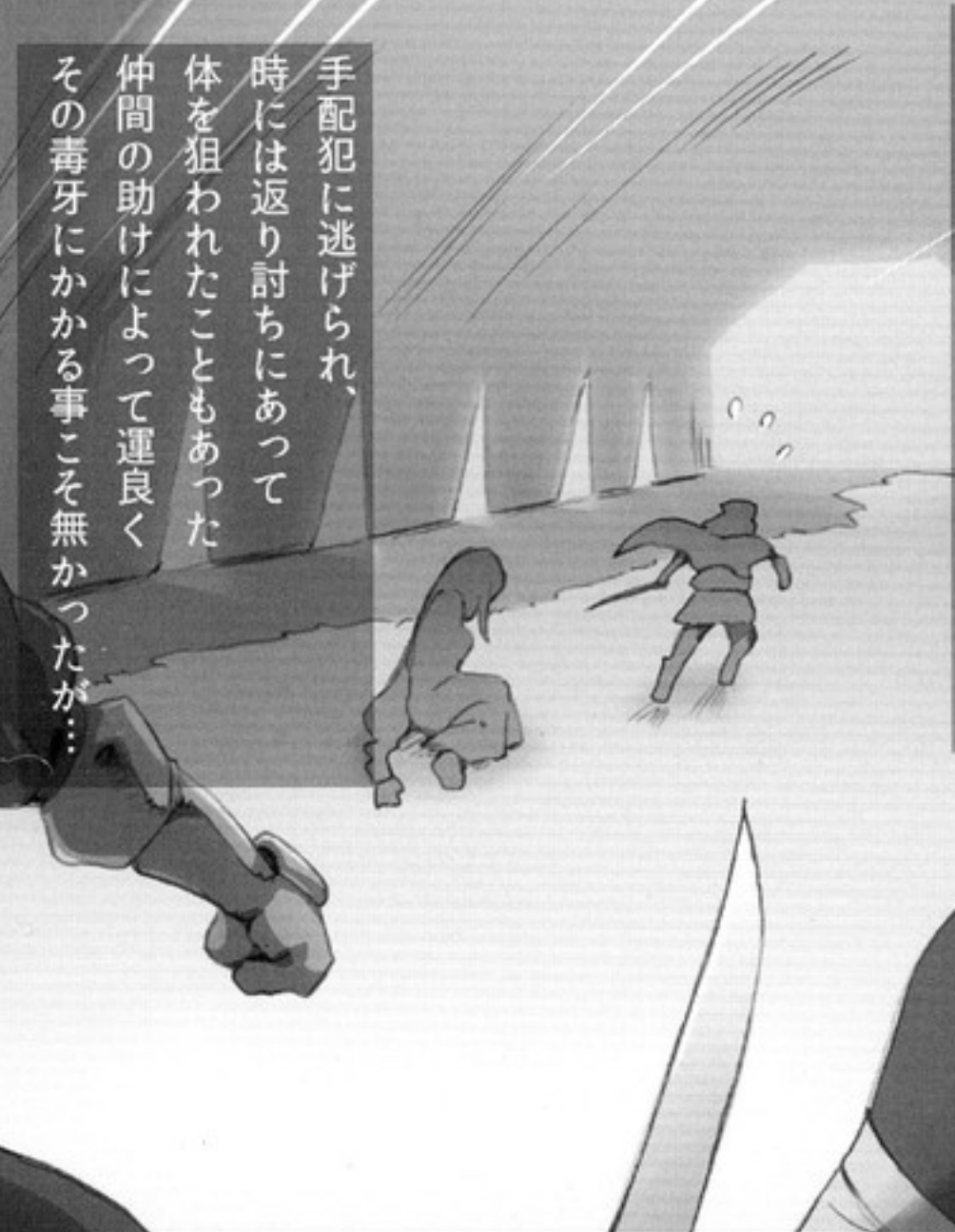
かつての自分もそうだったが  
その時に心を癒してくれた  
少年はここにはいない…



リーザは  
ロマリアとの戦闘以外で助力を申し出た  
主にハンターギルドの野良仕事  
報酬によって少しでも  
シルバーノアの助けになればと…



そして度々失敗した  
キメラでないにしろ報奨金が出る程に  
凶悪なモンスターや犯罪者相手に  
気持ちは空回りした10代の少女が  
勝てる道理はない

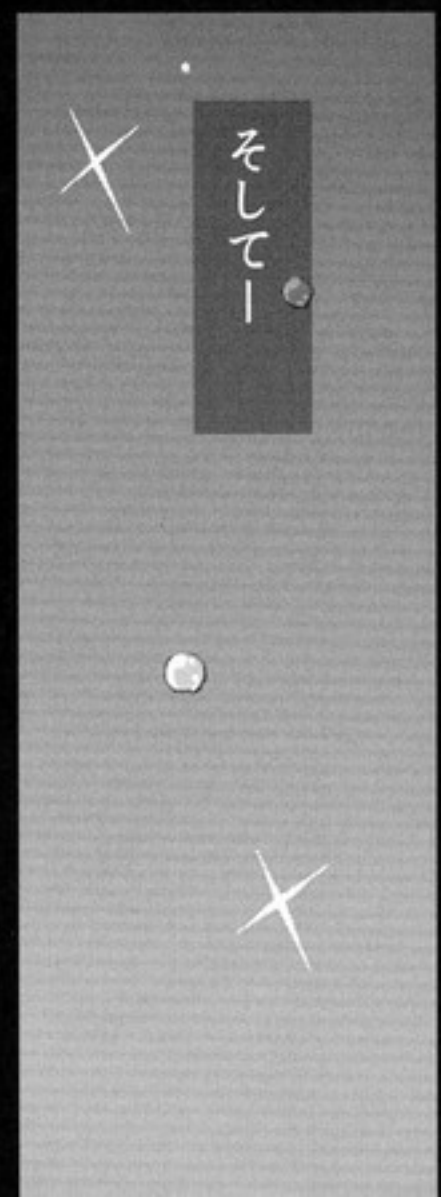


手配犯に逃げられ、  
時には返り討ちにあつて  
体を狙われたこともあつた  
仲間の助けによって運良く  
その毒牙にかかる事こそ無かったが…



う…

グスツ



そしてー



リーザ、  
君はこの船から  
降りてくれ

当然の解雇通知：  
シルバーノアの一室にて  
アークから直々に  
自分は足手まといだと  
ハッキリ告げられた



…正直、リーザも覚悟していた言葉である  
この戦いは、もう自分の出る幕ではないと  
それはリーザ自身が一番理解していた

アークは淡々と言葉を続ける

リーザの今後は…

故郷のフォーレスに送り届けるので  
そこでもう

ロマリアと関わる事無く  
暮らすといいと…

ホルンの村は廃墟になっているが、  
町の人と共に復興に尽力して欲しいと



リーザはアークの宣告を虚ろで聞いていた  
覚悟していた言葉  
想像していたとおりの結末  
どうせ来ると思っていた未来…  
リーザはもうずっと前から  
それを受け入れるつもりでいた…

故郷を、家族を、想い人を  
奪われ奪われ、奪われ続けて…  
ちよつと意地を張って頑張ってみるも  
結局運命には抗いきれず  
何一つも取り返せず…

仕舞いにはリタイヤして逃亡…  
そこから先は何も無い空っぽ…  
そう、これが私の未来  
そして現実…



私は弱い、私は無力  
そんな私にふさわしい  
孤独と絶望…

知ってた。  
ずっと私って  
そうだったじゃない…

だから受け入れるしかない  
受け入れるしかない…  
この未来を…



や…っ

嫌です!!

私が役立たずなのは分かってます、でも...



でもどうしてもここにいたい!!!

あきらめたくない!!!

お願いします!

何でもしますから!

雑用とか、何でも...

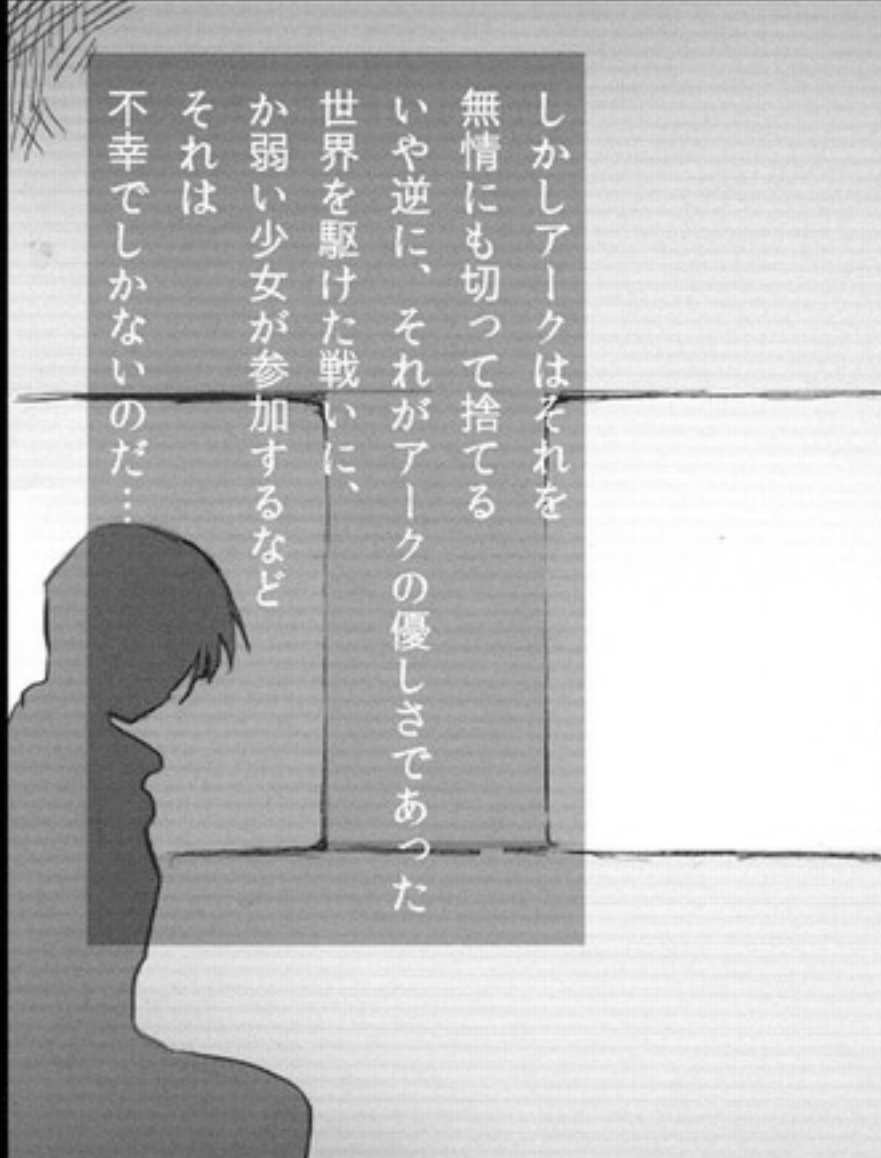
ダメだ。



この船のクルーとして戦闘員だ戦えない者を置く事は出来ない

堰を切ったように言葉が溢れてきた冷めた未来を受け入れる筈のリーザの心は突如湯沸かし器のごとく沸騰し、吹き上がる蒸気のように懇願の言葉を紡ぎ続けた...  
リーザの心に  
今一度火を点したのはあの炎の少年の幻影だったのかもしれない...

しかしアークはそれを無情にも切って捨てるいや逆に、それがアークの優しさであった世界を駆けた戦いに、か弱い少女が参加するなどそれは不幸でしかないのだ...



訴える言葉と冷徹な言葉  
震え声と抑揚の無い声  
平行線の押し問答が続く...

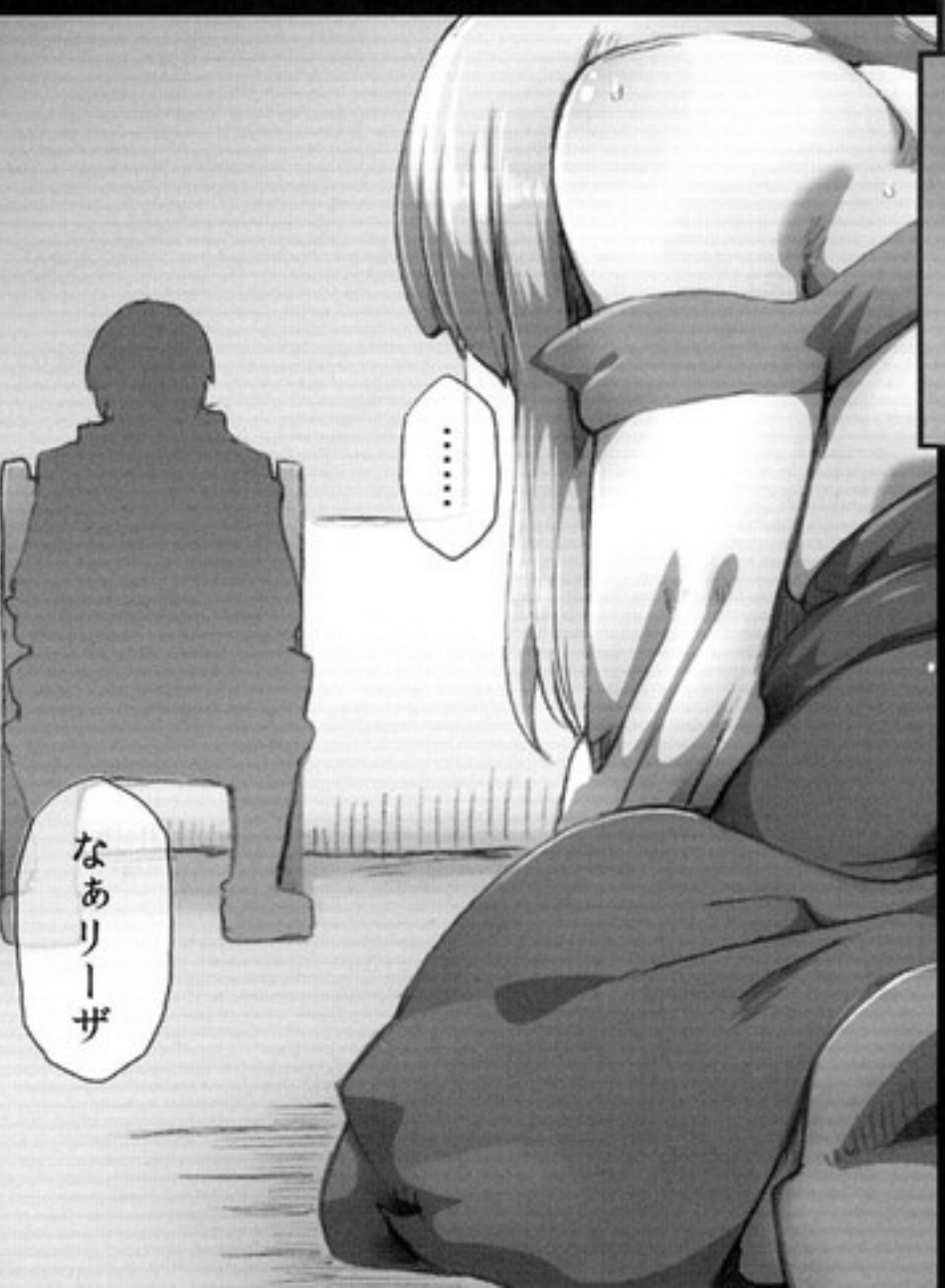


やがてリーザの言葉は理屈をなさなくなっていくもはや単なるわがまま少女だった...



それでもリーザは懇願し続けた涙を流し、声を枯らしながら...  
悲しみ、挫折感、怒り、孤独、失った人への思い、あの少年への想い...

負の感情も正の感情も、心の中で様々な感情が混ざり合い一つの巨大な『激情』となってリーザの体を支配していた



なあリーザ



本当に  
何でもするんだな？

アララトス上空ー

あれから数日後：  
私はアララトスの都・ガザルアを目指す  
馬車の中にいました

砂漠の辺境の空港から町までは  
長大な砂道を走り、  
すぐく長い時間がかかります  
これからの事も考えると、  
この旅はとても  
長いものになるでしょう

私はかばん一つの軽い荷物の横で  
揺れに身を任せています  
長旅なのにかばん一つだけなんて…  
ちよつと不思議ですね  
でもこれから向かうところに  
荷物は要らないんだって…

数時間後、砂原はなくなり  
人の往来のある道へと。

その後少し小さな町へ

入りましたが

このまま通り過ぎて、馬車は

ガザルアの都を

ひたすら目指します



町の喧騒も耳に入ってきていますが  
どこか遠い物音に聞こえます…  
私の心は穏やかでしたが、少し  
…いやかなり沈み込んでいました

これから向かう場所…  
そこで私がやるべき事…  
あの時、私が自分で選んだ道とはいえ  
深く考えるとひたすら憂鬱です…

私は…これから  
選択した私の未来に  
ふさわしい体になりにいくのです…



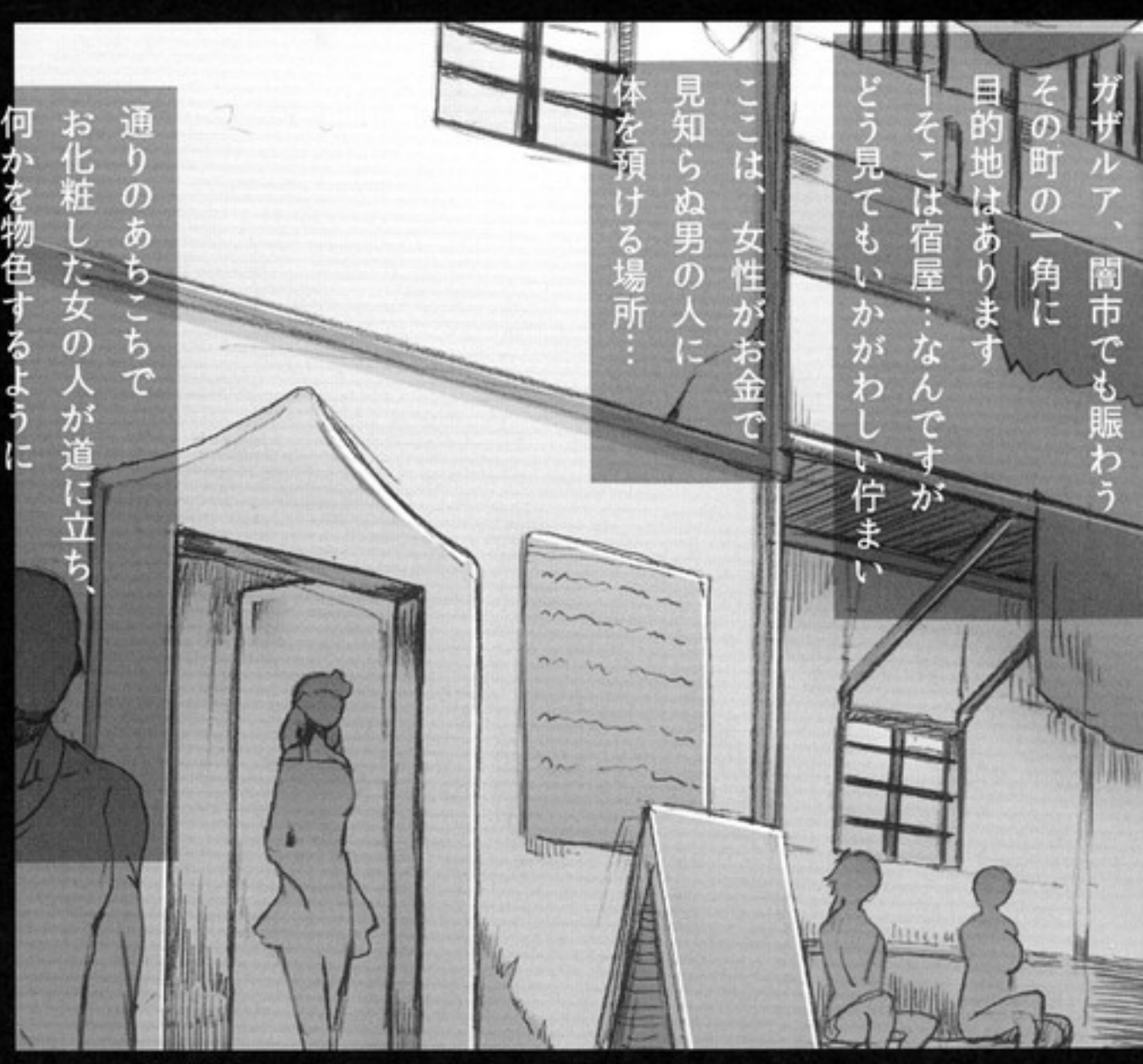
ガザルア、鬧市でも賑わう  
その町の一角に  
目的地はあります  
「そこは宿屋…なんですすが  
どう見てもいかがわしい佇まい

ここは、女性がお金で  
見知らぬ男の人に  
体を預ける場所…

通りのあちこちで  
お化粧した女の人が道に立ち、  
何かを物色するように  
辺りをきよろきよろ見てる  
男の人たちに声をかけています  
中には通りで既に抱きつき合ってる男女も…

私は、きっとこれから  
ずっと縁がないだろうな…  
と、かつて思っていた  
場所に立っています

私は、その宿屋へと  
重い足を運ばせました…



あらいらっしやい!

ダンナ、  
ご無沙汰じゃないですか  
しかも女売りに来るとは…

いやあ、  
売りじゃあないんじや  
仕込みの方を  
やってもらいたくての

ホレ、この子  
なんじやが





ほおろ若くて金髪の  
白人女…しかもこりや  
処女ですな…



その割には  
出るトコ出てるし  
まだ成長も  
見込めそうですなあ



こりやあ  
客付くでしょうなあ…  
売ってもらいたい  
トコですよ、ホント



リーザじゃ  
生まれはフォーレス  
少し気の弱い子なんじゃがまあ、  
見ての通り！磨けば光る  
良い素材じゃろお？

…

『フルコース』で頼みたい。  
この子を裏で使えるように  
して貰いたいんじや



それって…  
私の体売れって事ですか？



…



それから期間、金額など  
具体的な商談を  
始めている二人を前にして  
私はいつそう  
気持ちが暗くなってきました…

さっきの主人の  
私の体についての言葉を  
反芻するだけで、恥ずかしくて  
顔から火が出そうなのに…  
私がこれからする事なんて…

そうだ。

我々の仲間には船のクルーの他に  
幾人かのギルド所属のハンター、  
さらにギルドの裏仕事で  
各国の有力者に、体で奉仕する  
女のハンターが数名いる



その一員に  
君にも  
なってもらいたい

アークはいつもと  
変わらない口調で  
その裏の仕事について  
語り始めました



世界の様々な地域を  
手中に収めているロマリアだが  
その覇権を快く思わない権力者、有力者も  
各国に大勢いる

表立っては反抗しないという者達を、  
俺達の活動を秘密裏に  
支援してくれるようにする  
コネクションが必要になる訳だ

だが有力者相手にコネを作るとなると、  
金では敵しい。そもそも俺達に資金的余裕は無い  
他の見返りとして様々な物を用意する訳だが、  
一部には肉体的快楽を望む者がいる

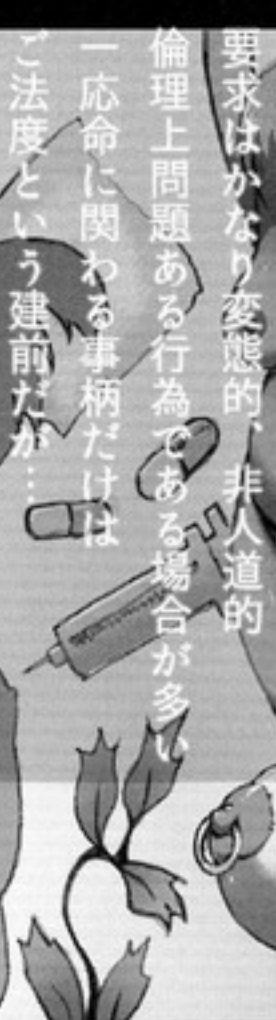
その需要を満たすために  
裏仕事に従事する女が必要になる  
だが彼らは普通の売春婦を金で買って  
出来る事を望む事は無い

要求はかなり変態的、非人道的  
倫理上問題ある行為である場合が多い  
一応命に関わる事柄だけは  
ご法度という建前だが...

協力者の中には妊娠している者もいる  
父親は不明だ。何処の国人の合いの子なのかも  
分からん。まあ血筋は高貴なもの  
可能性はあるが。当然認知などされない

子供を墮ろす事もない  
妊婦となった事で別の需要が生まれるからな  
生まれた子は別れるか  
女手一つで育てなければならぬ。その後  
すぐに兄妹が出来るのでその点も大変だろう

そうして彼女らが身を捧げて  
得た莫大な金が  
このシルバーニアの装備となり設備となり  
ひいてはロマリアに対抗する武力となる訳だ



アークは、そこまで真面目な口調で  
淡々と語り終えると、  
最後に、私へとなげかけました。

この仕事は、人としての尊厳、  
女としての幸せを全て捨てる覚悟を  
必要とする。そして二度と  
平穏な人生には戻れないだろう...



...正直私は今まで自分の体を  
そういう風に見た事はありませんでした  
...まあ以前シヤンテさんに私の胸の大きさとか  
服とかについて言われた事ありましたけど...

しかし、もし本当に  
君にその覚悟があるならば...

君は戦う事はできないが  
その道の素質はある。  
その身体は必ずや数多の需要を満たし  
世界を変える力の一部となれるはずだ

男の人の喜ぶ肉体であると  
考えたことは無く  
この時のアークの言葉で  
初めてそういう意識をしました

しかし、  
その話の合間に  
ふと顔を上げて  
アークの表情を  
見たとき...



アークが長々と  
恥ずかしい話をするので  
私は赤面し、そわそわして  
落ち着かなくなり  
いたたまれなくなってきました







…ッ

ドクン!

その表情に感情は一切無く  
抑揚の無い声で  
言葉を次々紡ぎながら、  
光の見えない深い瞳で私を  
まっすぐに見据えていました



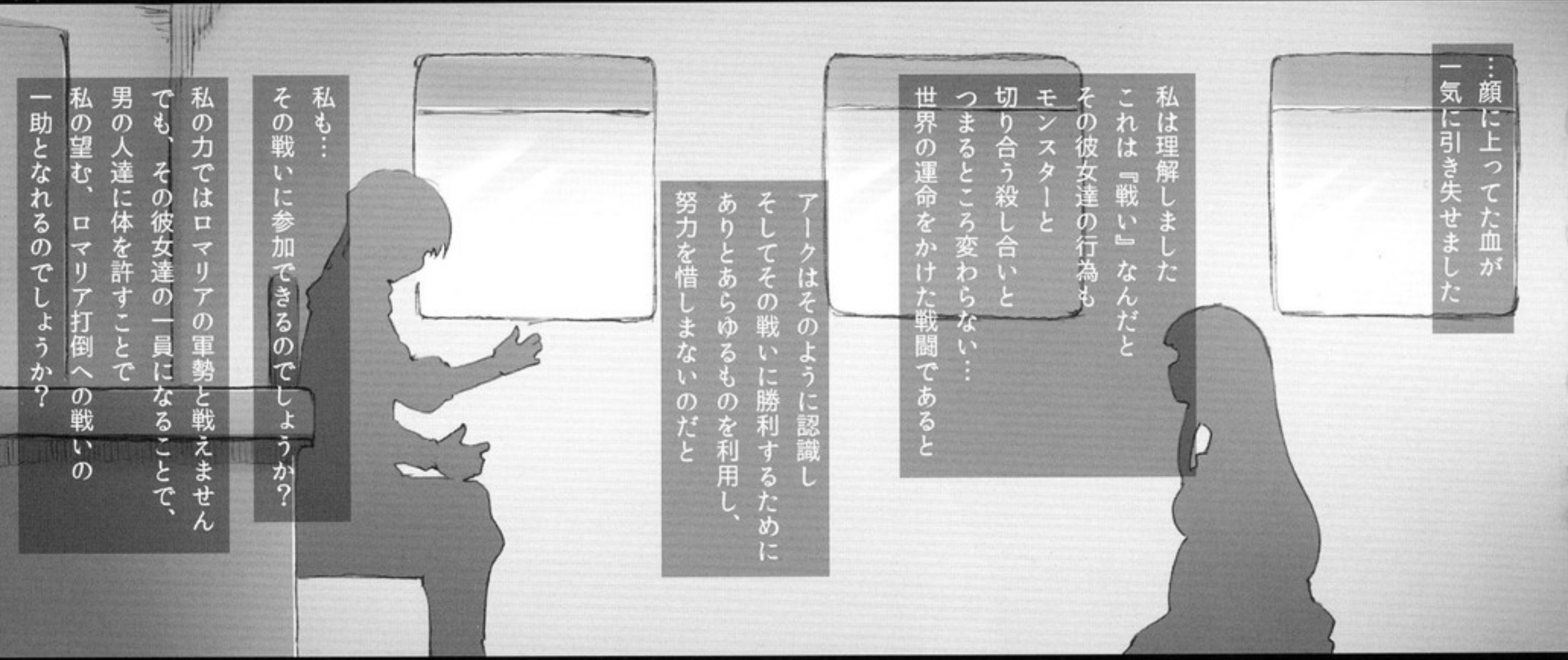
…顔に上った血が  
一気に引き寄せました

私は理解しました  
これは『戦い』なんだと  
その彼女達の行為も  
モンスターと  
切り合う殺し合いと  
つまるところ変わらない…  
世界の運命をかけた戦闘であると

アークはそのように認識し  
そしてその戦いに勝利するために  
ありとあらゆるものを利用し、  
努力を惜しまないのだと

私も…  
その戦いに参加できるのでしょうか?

私の力ではロマリアの軍勢と戦えません  
でも、その彼女達の一員になることで、  
男の人達に体を許すことで  
私の望む、ロマリア打倒への戦いの  
一助となれるのでしょうか?



これが私に残された道…  
私だけの戦い…  
私の未来へとつながる  
たった一本の光なんだ…

私は心の中で揺れ動く  
様々な感情を  
その一つの結論を導くべく、  
少しづつ固めていきました

たとえこの体が穢れようとも  
私はその先の未来を信じて…  
志と覚悟を持ってこの体を捧げよう

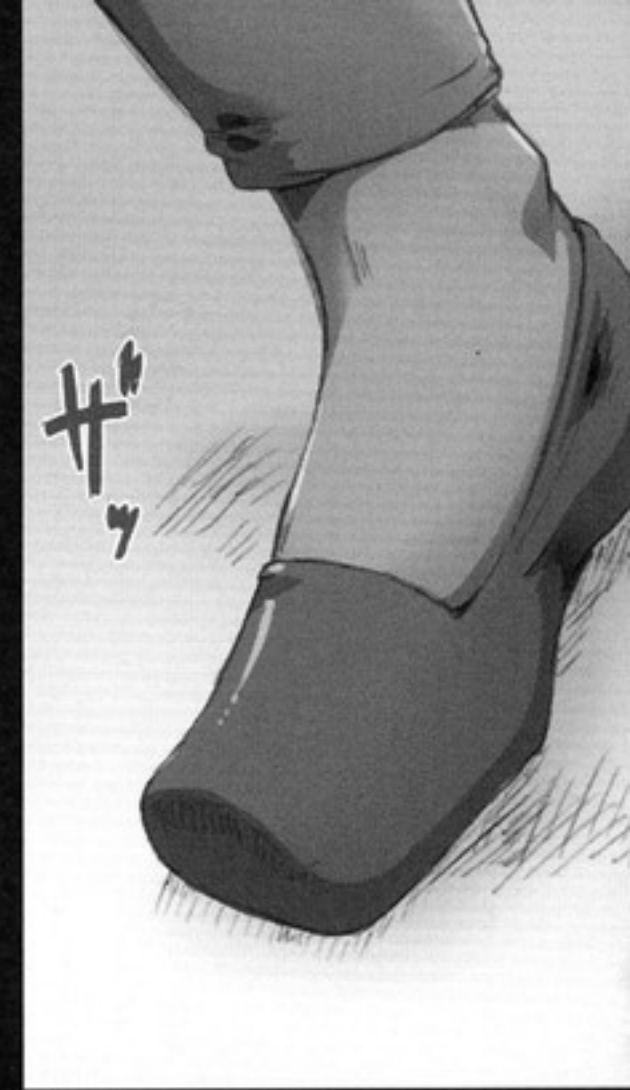
そしてエルク…  
あなたからもらった  
この小さな勇気を持って  
その一歩を踏み出そう



たとえ…  
あなたとの繋がりが…  
永遠に失われようとも









夜にまた来る  
ゆっくり考えるといい



ここが君の部屋だ  
普段は扉に鍵をかけるんだが  
今日は開けとくとしよう

洗濯物、ごみはこっち  
私が毎日来るから  
出すものは  
適当に出しといてくれ

隣に水場がある  
心が決まったなら、  
体を清めてでも  
おくんだな



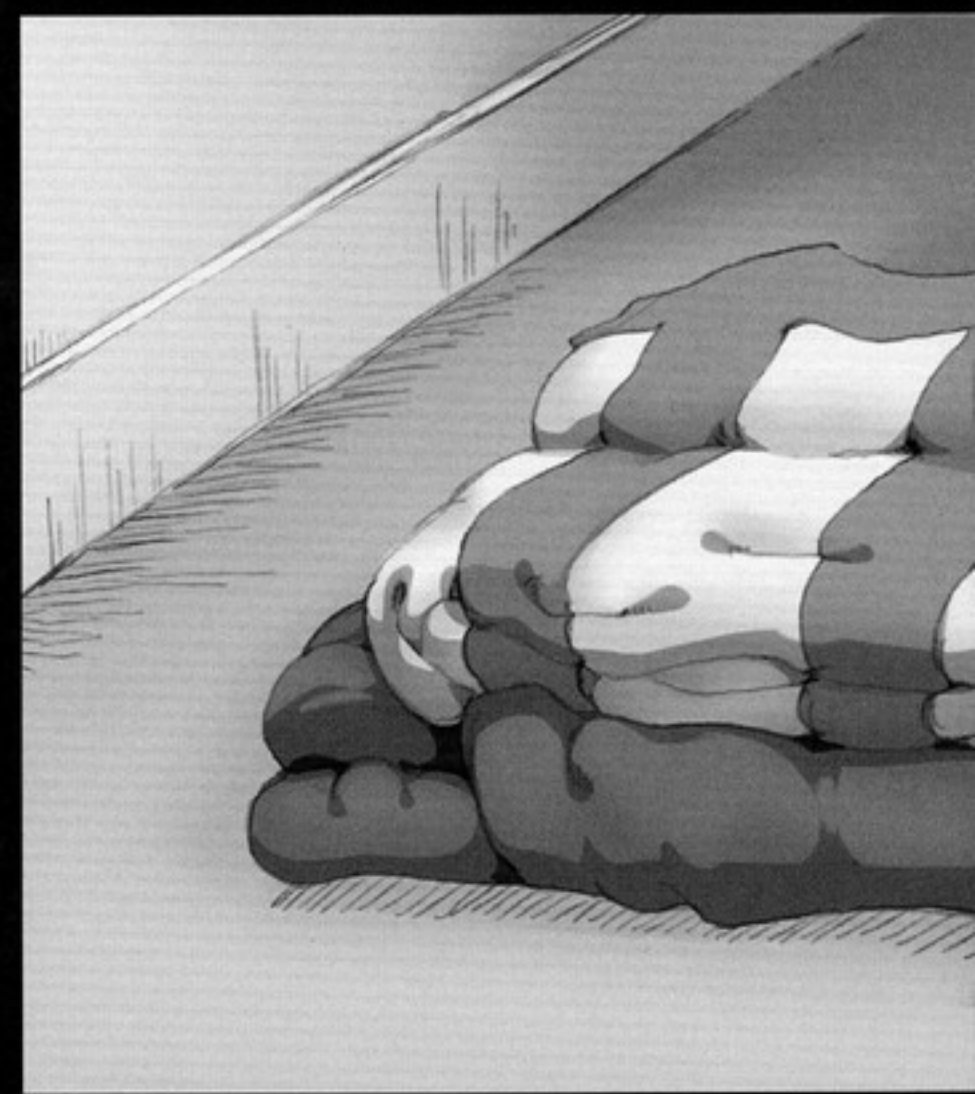
決めた...

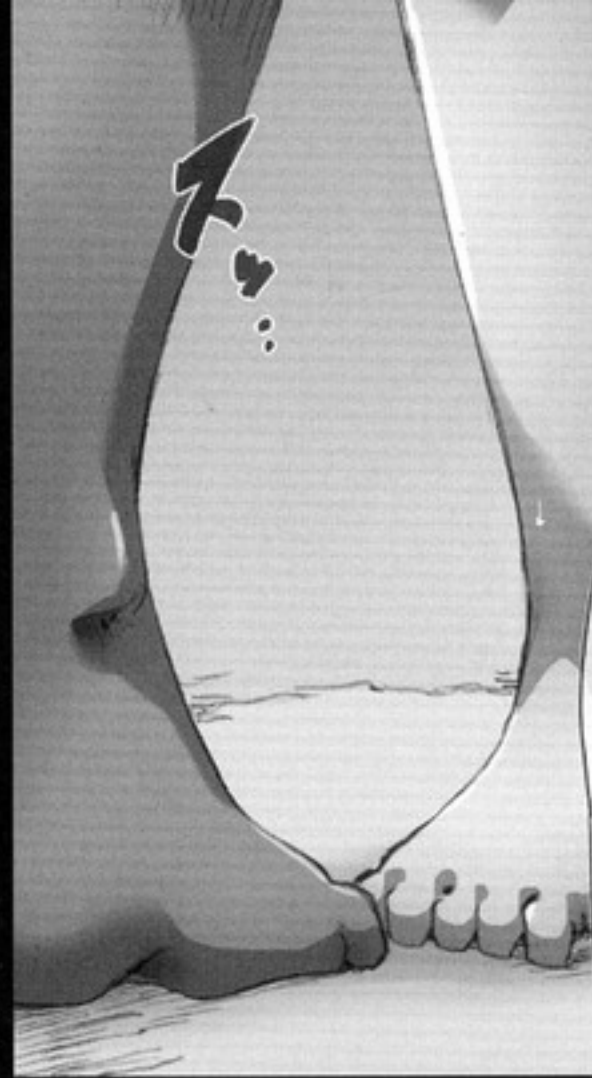
決めたのよ...



...

チャップ...





耐えるの

リーザ、耐えるのよ  
これは戦い…私だけの戦い  
私の選んだ道なんだから…



あ…

何も考えなくていい  
難しい事など何も…  
何にも怯えなくていい  
これからの事なんて

ただ、そのままでもいい  
体のままに  
私を感じてくれればいい

私は出来る限り  
精一杯君を愛そう



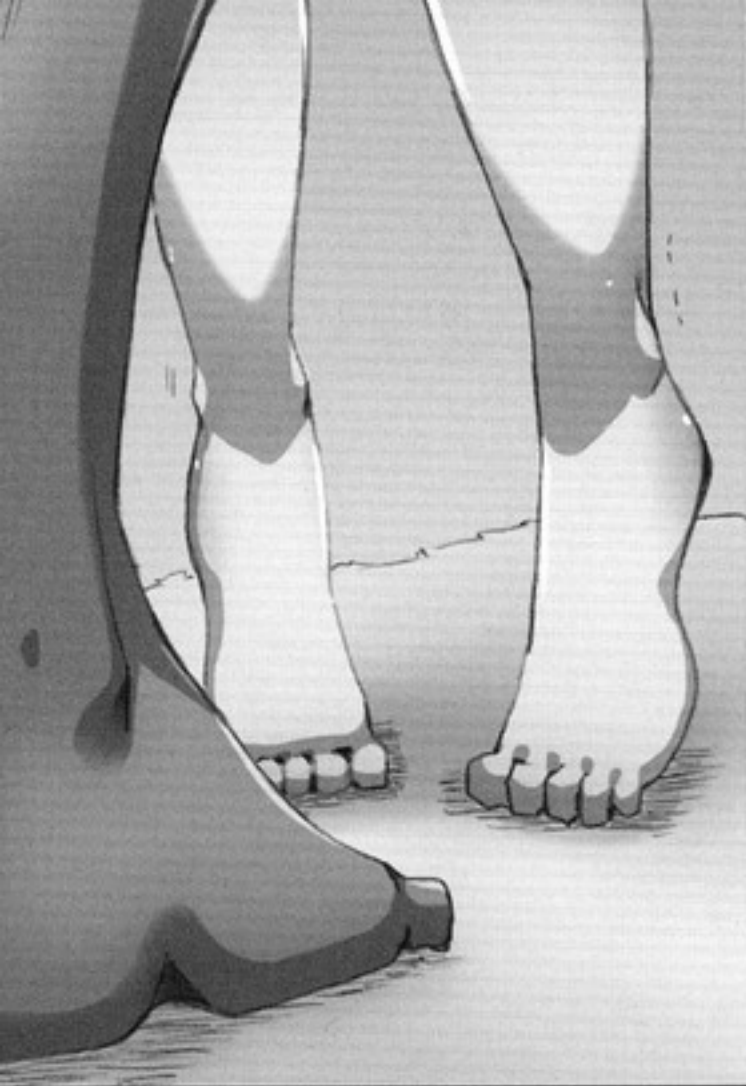
ああ、もう私…  
どうしよう  
胸がどきどきする…  
この鼓動はどっちのなの？  
ああもう…



そ、そんな事言わないで…  
私そんなんじや…  
ずっと考えてた…覚悟してた…  
この体を捧げようって

そのままって何なの…？  
体のままに…  
か、体動かないから…  
分かんないよ…ああ、  
と吐息が…唇が…

ああ…



月明かりで君の綺麗な白い素肌が良く見えるよ  
フフ…本当に綺麗だ

あう…



さてまずは  
ココ…  
感度はどうかな？

っ…



君の体の事を  
もっと良く  
知りたくなったよ  
…少しづつ  
色々試していこう

君は恵まれた体の持ち主だな  
その大きな胸も…  
ぶるぶると震えて実に愛らしい



へ、変な感じ…

フフ、そうか  
ココをこう擦られて  
どんな感じだ？



なに  
コレ…

今まで自分でココを  
弄った事は？

ないです…



初めて味わう  
不思議な感覚に  
私は身もだえしました  
アソコに、調教師さんの  
指の圧力がかかる度  
なんとも言いようの無い  
感覚が体を突き抜けます

さっきの、体のままに、の意味を  
私は理解しました  
調教師さんの指に刺激されて  
私の体は勝手に甘い反応を示し  
その刺激が一番心地いい体勢へと  
ひとりでに動いてしまいます  
それは生まれて始めて味わう感覚でした



んっ

んんっ

ふ



さてでは、こうすると  
どうかな？

ああ、  
素質は十分すぎる程に  
あるようだな…



相当に感じやすい体質の  
ようだな。ほんの少し  
弄っただけでこうまでなるとは…  
こんなの私も初めてだ

ほ、他の女の  
人よりも  
ですか？

うあッ



調教師さんの愛撫が徐々に  
強いものへと変わっていきます  
その大きな刺激に反応して  
私の体が暴れ始めました

だ、だめ…  
だめじゃないさ  
君の体はこんなに  
喜んでいるぞ？

アソコの両端を指で押し広げられ  
露出した肉を舌で嘗め回されます  
一つの動作をなされるたびに  
私の体が大げさに反応します  
…そして体の奥から  
不思議な疼きのようなものが  
強く込みあがってきました

クリトリス…  
一番敏感なそこを  
舌で刺激された瞬間  
私の体が大きく跳ねました

体の中の疼きが一気に放出され、  
その後は長く続く  
脱力感と、温もりにも似た余韻…  
私が生まれて初めて絶頂した瞬間でした

調教師さんはその後暫く  
愛撫を止め、私に  
余韻を味わせてくれました  
そして余韻が引いてくると  
同じくらいにまた  
アソコへと刺激が…

その緩急の付け方は  
恐ろしいほどに完璧でした  
程なくしてまた絶頂…  
余韻…そしてまた愛撫…

裸になってからものの  
数十分ですが私は  
10回以上絶頂を味わう  
ことになるのでした…  
しかも初体験の、その夜に…





うう

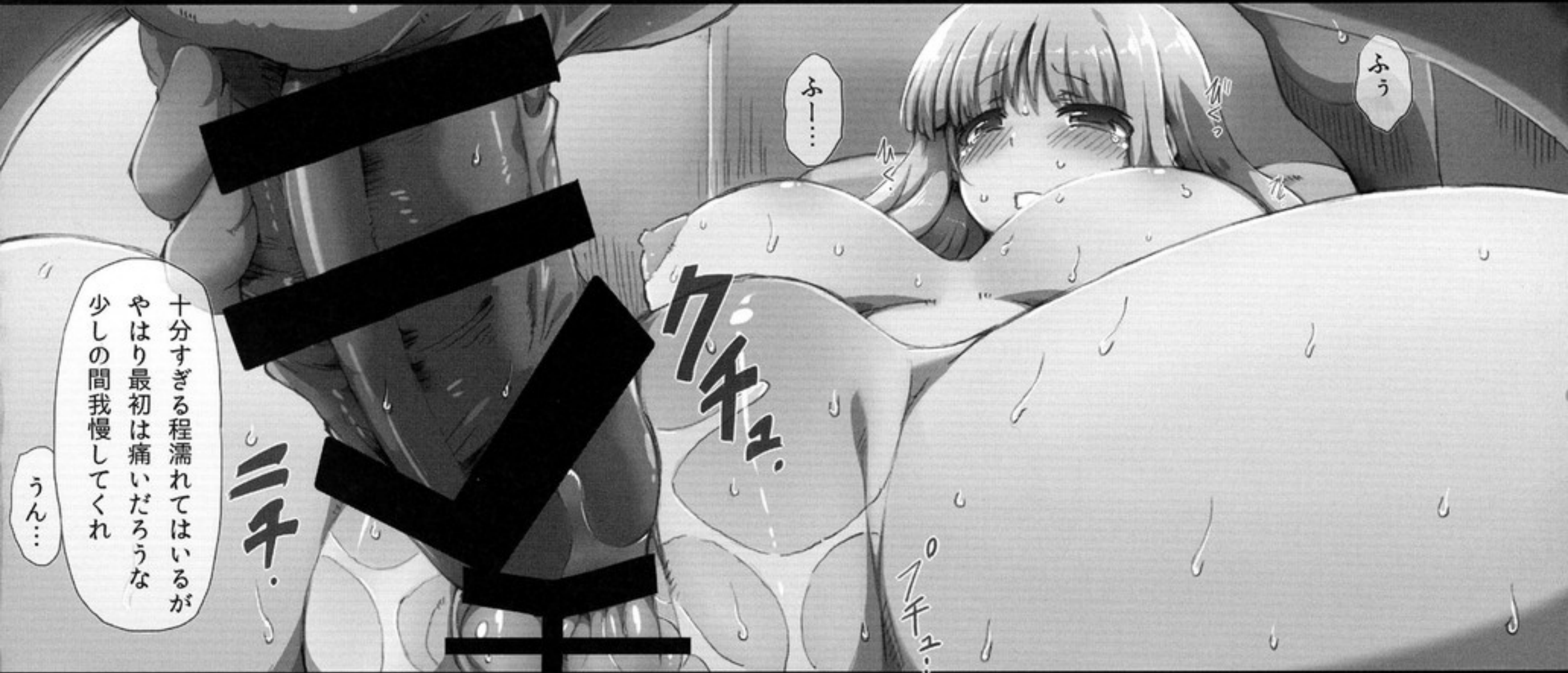
ああ…



さあ、ではそろそろ  
抱かせてもらおうとするかな

私としたことが…君の姿に  
もうこんな興奮して  
しまつてね ㄉㄉ…

ムキ…



ふう

ふ…

クキョ

フキョ

ニキ

十分すぎる程濡れてはいるが  
やはり最初は痛いだろうな  
少しの間我慢してくれ

うん…



ごめんっ…

ごめんなさい  
エルク!



リーザ!



ああ…  
私… 私ついに





繰り返し繰り返し繰り返し…  
そして長い時間が経ち、  
夜も更けてくるといつの間にか、  
私達の行為は、一般的にセックスと呼ばれるもの  
なら変わらなくなっていました  
私の体も女の体へと完全に変化を遂げました



ふうっ

秒速単位のピストンを  
しっかりと受け止めています  
そして突かれるたびに  
快感が溢れ、だらしなく  
開いた口から声が漏れます  
絶頂も、この数時間で何回味わったか知れませんが…  
そしてやがて、調教師さんの動きにも変化が訪れました

うあッ

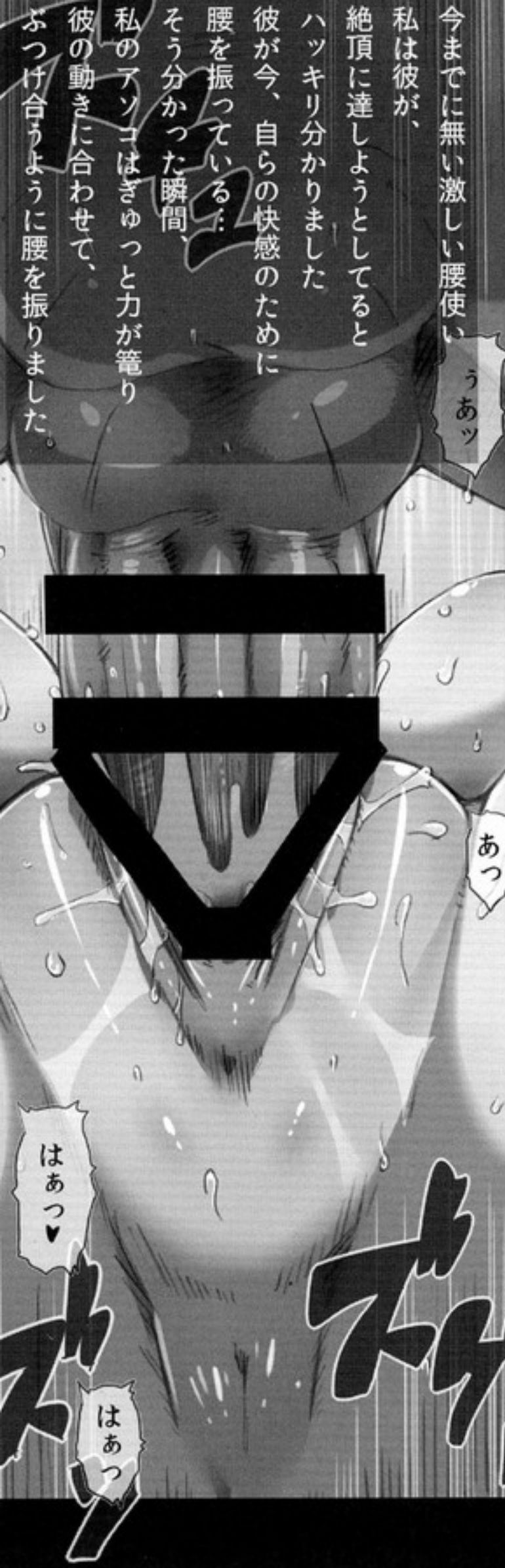
あッ

ハアッ

ハッ…  
はああ

はうう

んあッ



はあッ

はあッ



あああ…  
し、しあわせ…

お腹の中あ…  
あったかい…  
しあわせえ…

彼の絶頂を助けられる事を幸福に感じました…  
一方的に与えられる快感よりも、  
二人で与え合ったほうが何倍も気持ちいい…  
一人で絶頂を味わうより、二人で同時に  
達することが出来たなら…私の本能が  
そういう風に考え、そしてその通りでした…  
私はこの初体験の夜に、  
セックスの快楽と、奉仕の悦びに  
ハッキリと目覚め、そして染まってしまいました…

リーザ…!!  
リーザっ…!!

くううううう

んいっ

いっ…





あつあつ♡  
イクっ  
マンコ  
いくっ



あつ  
あつ  
いいかも一回言ってみろ!  
入れているのはチンポだ、  
おちんちんじゃない

チンポだ!  
入れられているのはマンコだっ

…っ♡  
チンポきもちいい!

それから私の調教は始まりました  
まずはセックスストレーニング  
セックスの悦びを体に完全に覚えさせるとの事で、  
生活の全てがセックス中心になりました  
調教師さんは空き時間の度に来てくれて  
部屋に二人でいるときは  
ずっとセックスしてました

あああ♡  
チンポ気持ちいい、  
マンコ気持ちいいって  
言ってみろ!

きもちい…



んん…  
射精が始まったと感じたら  
すかさず腰を密着させ  
奥まで入れる  
子宮口へくっつける程にな

ここでの基本は中出しだ  
男の精液はほぼ必ず  
君の体内に出されるからな

ふ…♡

その状態で  
射精が終わるまで  
じっとするんだ



その後、奉仕セックスを教わりました  
騎乗位とか：チンポの上に跨って、  
私が自分で腰を下ろし  
チンポをマンコへ導いていく  
セックスです。男の人へ奉仕する快感を  
存分に味わえる、今では  
私の好きな体位です

っはあ…

入れただけで  
イってるようじゃ  
まだまだだぞ

自分より相手をイカせる事を  
重点にしているんだからな

あう  
スイマセ…  
うっ

う…



どうだ？触ってみて  
どういふ風を感じる？

か、硬いし  
熱いです…

うあ

そうだ  
これが君のマンコへと  
入っていくんだからな

硬さと熱さは君の体で  
興奮してもらってる証拠だ

どんなチンポにも  
敬意と愛情をもって  
奉仕しなければならぬ

あっ♡

あふ…

んあ

フキッ…

フキッ…



自分で自分の体を慰める事を  
教わりました

オナニー…自分の指でマンコをかき混ぜると  
セックス程ではないけど快感を得られます  
また別の快感を得られます…

ふ…

一人でいる時はオナニーをする事が多くなりました  
また、男の人にオナニーを見てもらう事は  
また別の快感を得られます…

びんびん

ふああ♡

私があなたの事をどんなに想っているか  
あなたの事を想えば思うほど、指は早く、吐息は荒く  
絶頂時の快感は凄まじいものになります  
オナニーを見てもらう事は私の心を見てもらう事なんです

調教師さん…

私一日中あなたの事を考えてオナニーしてました…  
はやく、早くそのチンポを入れて欲しいんです…  
その赤くそそり立つチンポを

茹だった私のマンコに埋めて欲しいんです…

ああ…  
だめ…いく…  
いつちやう…!

いっく…♡

ザーメンのおいももう慣れたか？  
ふふ、もつと欲しいって  
顔してるじゃないか

ま、まんこ  
マンコに…♡

どちゃ

フキッ…

フキッ…

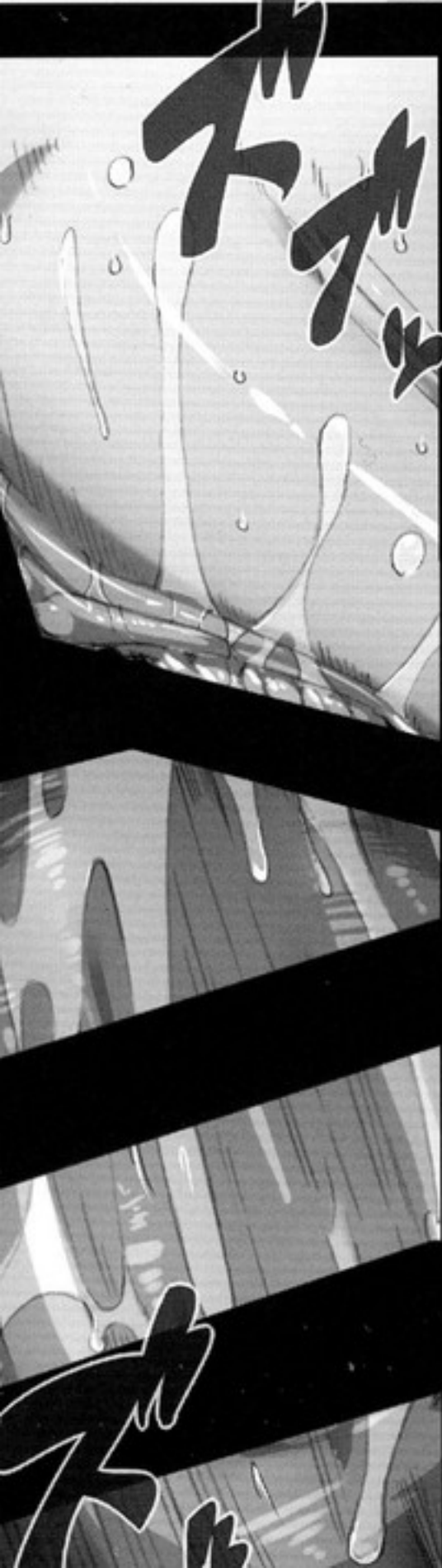




フェラが下手な娼婦は娼婦とは言えん  
全ての顧客が満足できるような舌と口の動きを練習するんだ

ただしやぶってるだけじゃダメだ。動きにバリエーションと緩急を付ける

口内に出されたザーメンは必ず飲み込むんだ  
客によっては口の中で溜めたり  
漱ぐような動きを要求される事もある  
それも練習しておこう



感じているときは声に出すようにしろ！  
大声でな！  
どれ程に感じているか声で表せ！

あはあああああ！

何処がどう  
気持ちいいのか  
具体的に  
口に出す癖を付けるッ！

タッチ、チンポ！  
まんこ  
じゅぼじゅぼッ

きゅきゅきゅきゅきゅ

きゅきゅきゅきゅきゅ  
きゅきゅきゅきゅきゅ

アナルの処女も彼に捧げ、その後調教が始まりました。しかし…  
今までと違ってアナルの調教はあまり進みませんでした。

あう…

私はアナルが非常に弱い体みたいですが、ほぐすための少しの刺激ですぐイってしまうし、アナル挿入が始まると全身から汗が噴出し、悶絶してしまいます。痛み、というよりも何か別の感覚です…



時間をかけてゆくりと開発していきましょう。調教師さんが言うてくれました。アナル奉仕が出来るようになるのでしょうか…不安です。

…月日は流れました。

ここでの生活も一ヶ月半が過ぎ、私はセックス、奉仕の一通りの事が出来るようになりました。ナルセックス以外…

もうじきこの調教師さんの調教が終了します…



あれ、うまく挟めない。

もっと乗っかるようにして上から…

二ヶ月の期間がもうすぐ終了します。最後の数日間、言葉は要りません。日がな一日中、ベッドで睦み合って過ごしました。奉仕も何も関係ない。ただ肉欲のまま体を求め合い、貪るだけ…セックスの基本、性の悦びそのものです。

あんっ…

あっ



もしかしたら最後の調教は体力トレーニングだったのかもしれないね。1日20時間くらいセックスしてました…そして2ヶ月目の最後の夜…

その夜明けを私は調教師さんの体の下で見ました。流石に体力の限界で意識朦朧の私でしたが、最後に彼の言ってくれた言葉をハッキリ覚えています。

よく頑張ったな、リーザ。

はあ…

はあ…



『フルコース』の第二ステップ  
目が覚めた私は地下へと連れて行かれ  
戸惑ってる私の元は大柄の  
太った調教師さんが降りてきました  
その人の姿が：



次の調教は『汚物調教』  
不潔を極めたような  
その調教師さんが言うには、  
マニアックすぎる客の  
要望にも応えるため  
この地下で特別な調教を  
行うとの事：

お前がリーザか：  
ここから2ヶ月、俺が今度お前を躱ける  
新しいご主人様だ よろしくな！

へへ、ここに落されるヤツなんざ  
売られた底辺奴隷ばっかだからよお  
お前みたいな白いネーチャンは久しぶりだぜ  
勃ってきちゃった

今まで性の悦びを  
味わってきた私ですが、  
最終的に私の目指すところは  
例え恥辱でしかないものでも  
それを悦びへと昇華する  
精神を必要とするのです

さーさ、ここが  
今日からお前が  
泊まるスイートだぜえ？  
鍵掛けちまうが俺が大体毎日、  
昼くらいに遊びに来るからよ

トイレも付いてるぜ  
トイレは中身が一杯になったら  
取り替えてやるからな  
溢れる心配も無くて安心だあ

まずは俺の自慢のマラを  
その口で洗ってくれよな

俺んどこにや  
めつたに女が落ちてこねーからよお  
久しぶりの風呂も同然なんだな  
へへ、頼むよ

彼が降りてきたときから  
感じていた激臭が  
凝縮されたような  
汚物まみれのチンポ：  
こんなの絶対に  
奉仕したくないと  
思いましたが  
私にはこうする  
他ありません：

震える指で包皮を捲り、  
中のチンポの先端に舌を這わせました  
ニユルリとしたものが口の中に入った瞬間、  
私の体の中から何かが逆流してきて：

うおエえ！







あれから一週間…  
ここでの生活も少し慣れました  
これだけ経てば私の体にも  
汚臭がすっかり染み付いてしま  
い  
おいに関してはほぼ慣れました

おめえよお  
毛深いんだな実は

一週間でこんな  
なるヤツ  
初めて見たぜ

あう…  
好きだぜくおめーみたいなスケベはよお  
毛が早く伸びるやつはエロガツパって  
どつかの国では言うよなあ  
スメリアだっけ？

でも、まだ私の羞恥心が  
消えませんが…

調教師さんはそこを抉る様な  
恥ずかしい仕打ちを次々としてきます

おいちやんと飲めや  
喉が動いてねーぞ喉が

はあ…

はーっ  
はあ…



無駄毛を晒しながら  
公開排泄：溜まった宿便を勢いよく  
排出し続け、特大の恥ずかしすぎる  
排泄音と空気の漏れる音が、  
狭い独房の壁にこだまします…  
さらにこの公開した便を、  
手を使わず便器に戻すことも強要され…

気持ちいいだろ？  
溜めたクソを  
ひり出すのはよお

まあよくあんな  
言いつけ守ってたな  
一週間？えらいねえ

ホラ  
ホラ！

カハッ

あふ♡

あ♡

あはあ♡

ハアーっ

ハアーっ

数週間後：

私はすっかり地下の

汚物生活を満喫できるよ

なっていました

変われたきっかけは簡単：

それは自身の認識を変えること

ん♡

すなわち、私って元から、こういう存在だったじゃん。私ってそういうえば人間以下の、ただの生きてる汚物だった。そのことに気づいてからは楽勝でした。人間の衣なんていらぬ。何も考えず、ただ溜まった肉欲と宿便を解き放てば、得られるのは本当の気持ちよさなんです

えへ♡  
じよりじより気持ちいい♡  
かいかい取れてしあわせ♡  
俺も気持ちいいぜ



ホくらこうすりや  
晩飯がシチューに  
早代わりって寸法だあ

私もいつもやってるよ  
えへほら合流う♡

あはあ♡

これじゃどんぶりから  
溢れちゃうぜ  
俺が出すまでも  
無かったなこりやあ…

いいの♡  
ごしゅじんさまのおしっこ  
しよっぱくておいしい



そこにいる間は人間をやめて  
一匹の獣になっていました  
いや、毛繕いすらしなし、  
獣以下の何かですわね♪

地下での調教を終えて、  
私は地上へと戻りました…  
暫くして私は正気に  
戻りましたが、それまで  
数日間、上の調教師さんは  
苦労したんだそうです…

ふう

地下での体験は、  
自分を見つめなおす機会をくれて  
恥辱だろうがなんだろうが、  
どんな客のニーズにも合わせて  
私自身が柔軟に振る舞い、変わり  
その中に悦びを見出せる…  
私の自信になったかも  
しれません…



フフ、ようこそリリース  
この日をずっと楽しみに  
していたんだよ私は

君ならきつと  
私の調教で壊れずに  
耐えてくれる筈だとね  
確信してるんだよ私は

それは『苦痛調教』…

今度は精神的恥辱でなく  
肉体的苦痛を悦びへと昇華する  
いわゆる『マゾ』へと私は作り変えられる訳です  
体を薬湯などで入念に洗われた私は  
鉄扉で閉ざされた一室へと連れられました

この調教はねえ  
痛いだけではないんだ  
至高の痛みと極上の快楽を融合させる  
マゾメス開発調教のプロなんだよ  
私は

そこで私は繩を受け…  
金属柱から地上数十センチのところ  
宙に吊られているのです。私の重さによつて  
体に繩がギリギリ食い込み、痛みに悶絶します…  
でも体をよじると繩がさらに食い込むので  
ひたすら呼吸を整え、じっとしてるよう心がけます

繩の痛みにも悶えながらも  
股間のバイブレータが  
じんわり蠢いてるのが  
分かるだろう？  
これが後から効いてくるんだな  
苦痛と快感が綱交ぜになり、  
新たな境地へと達する…



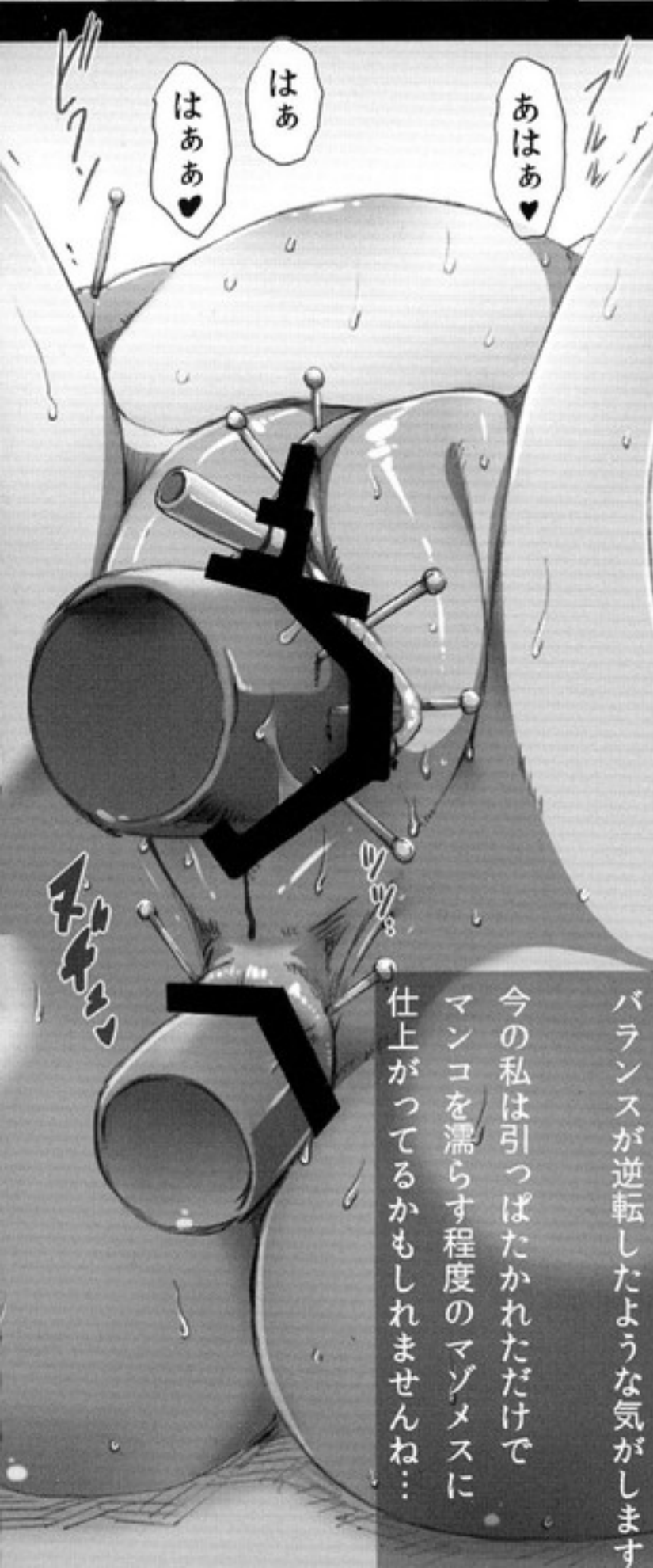
君は快樂指数が  
高いらしいからねえ  
もうちょっと  
苦痛を増やしてみるか  
このローソクで…



最初の数日間  
私はこの状態のまま  
昼夜を過ごし、調教を  
受ける事になるそうです…  
その間に、苦痛と快樂の  
バランスが逆転すると  
そんな事を彼が言っていました  
私は全く  
聞いていませんでしたが…

この状態ではいくらなんでも  
苦痛が強すぎます…でも  
彼の言うとおり股間の器具から  
ひっきりなしに甘い刺激が  
届いているのは事実…  
私は責め苦の間、その股間の刺激に  
集中することにしました

おほおほ





苦痛調教の極めつけは『薬物調教』です。お客さんに薬物を打たれたとき、すぐ廃人になってはダメなので、幾分か耐性をつける必要があります。



その方法は簡単。今この場でキメセツクスする事。依存性の比較的少ないクスリで、調教後直ちに特殊な方法で薬抜きしてくれるらしいので、後遺症に関しては大体心配ないみたい。

でも問題は…

クスリの効果を高めるため私は目隠し、手枷、足枷、そして口の部分に大きな袋をつけた特製マスクを付けられました。袋には多った葉っぱが放り込まれました。この調教ではマンコとクスリだけが私の全てになります。

呼吸のたび100%の割合で取り込まれ、酸素に乗って体中を駆け巡るクスリ。激しく絶え間なく続くマンコへの殴打。この凄まじい快樂のために、精神がぶっ飛び、そのまま帰ってこずに廃人になる恐怖もありました。

体の中が乾くほど全身から汗が噴出し、快樂が凄すぎて逆に苦痛とすら感じました…十数秒に一回絶頂に襲われ、何十回目か分からない。絶頂のあと、急に全身の力が抜けて、おしっことうんちが出てしまい、脈拍がゆっくりになっていくって、…あとは全く覚えていません。

気が付いたときには… 全ての処置が完了して、硬いベッドで私は目を覚めました… 永遠に思えたほど長い快樂の体験でしたが、実際の時間は数分間だったようです。本当に凄く怖かった… 薬はやっちゃダメですね、絶対。



その後も、みっちり1ヶ月の間、拷問にも等しい調教が次々私の体を通り過ぎていきました…でも不思議と、後になってくると本当にあまり苦痛ではなくなりました。痛みを感じない訳じゃありません。なんというかな…

…苦しいこと自体が気持ちいいんです。痛くてたまらない事をされるのが嬉しいんです。…そう思えるようになりました。調教最後のその日も、体中に与えられる負担を感じながら、何度目か知れない絶頂…

調教師さんへの感謝と忠誠を心の中に誓い…そして意識を失いました。



調教の後期からですが  
実際にお店に出てお客を取る事もしました。  
私の扱いは、お店の女性の中でもごく一部の、  
高級娼婦の一員…の研修として。  
信頼の置ける、常連の上客を宛がってもらい  
本当に言葉もないほどです…

私の売上金は調教の代金の  
差し引きとして充てられていたかは  
実は分かっていませんけどね



ご指名  
ありがとうございます  
リーザです♥

お化粧をして、宝石を纏い、えっちな服を着て…  
本当に私生まれ変わったみたい…  
私は精一杯艶のある声で、お客さまをお迎えしました  
限られた方しか来れないので、結局常連さんばかり  
ローテーションみたいな感じになっちゃいますが  
それでも皆さん私の事を  
気に入ってくれたみたいで嬉しかったです



リーザ！  
また来ちゃったよ  
君と別れた  
次の夜からもう、  
寂しくて  
たまたまなくなってね  
今日は最長コースで頼んできたからね  
コッチの方も十分溜めてきたから…  
目一杯楽しもうじゃないか



うふ  
その前に、  
いっつも…の  
ちゅっ♥  
んっ♥



おほっ  
ありがとうございます♪  
私もあの夜の事をよく覚えてますわ…あの時  
出来なかったことも一杯覚えてきたので  
今日は沢山ご奉仕させていただきますね♥  
ああリーザ…  
もう待ちきれないよ！  
早く奥へ行こう

お客を取るようになってから2週間、  
ラでは私の心から不安や憂いは消え  
充足感と、自信に満ちています。

セックスの気持ちよさもさることながら、  
男の人に奉仕するのが本当に楽しい……  
いつからか、私は私の内なる力の  
不思議な使い方を知ることになりました

男の人の体に触れ、  
精神を深く深く  
研ぎ澄ます……

かつて動物や、  
モンスターと心を  
通わせていた  
あの時のように……



いいよ、いいよお  
随分挟むのが  
上手くなったねえ

……いや  
もしかして  
サイズの方が  
上がった？

んっ



おほっ……  
これはっ  
た、

たまらん  
前立腺……

♪

どんな言葉をかけられたいか、  
私の体のどこをどう見たいか  
それらが本当によく理解できました。  
そして……これが単なる私の思い込みで  
ない事も、彼らから私へ、次の夜への  
招待を見ればもう明らかですよね♪

ああっ……  
で、出るうっ

ウッ……  
つくう

ああ、まるで  
聖母様になったような気分……  
私の生んだ子供であるかのように、  
男の人の気持ち分かる……

私は彼を射精に導いたその時に……  
かつて夢見ていた幸せな未来を  
今、掴み取ったんだという  
そんな気さえしていました



あはっ♡

もう、こんなに  
一杯出しちゃって……

次大丈夫なんですか？



いいいっ♡  
おっ、奥にいっっ

きもちっ♡

ハアッ  
リーザ…ッ  
リーザッ!

あっ♡

くそっほんともう!  
こんな体しやがってっ  
かわいい声  
出しやがってッ!

は、はげし…

い、い…つく  
いっちやう…ッ

きゅんきゅん  
締め付けやがってっ!  
孕めッ!

産め!俺の子ッ

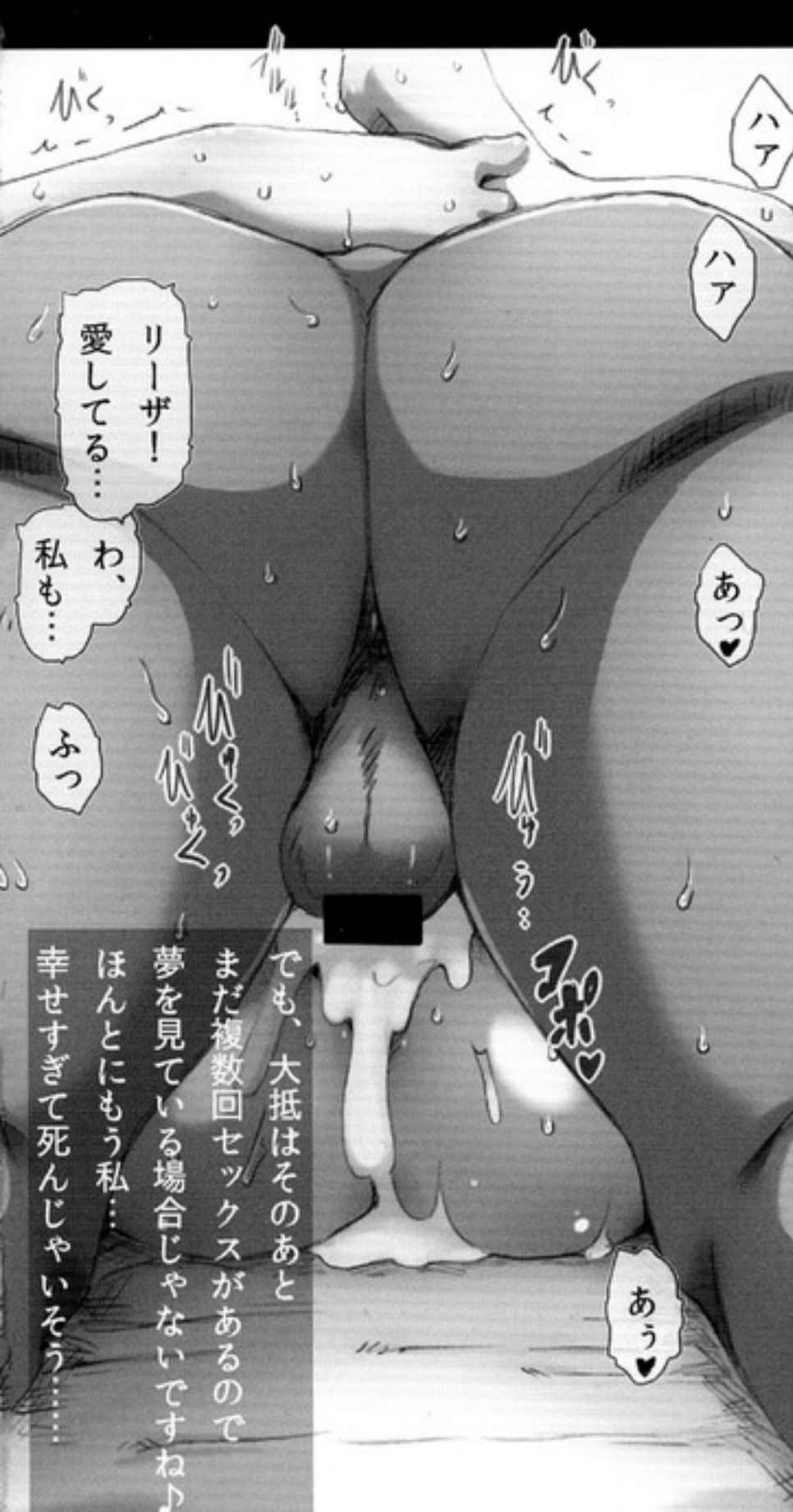
んあはああっ♡

ギョッ

ハア♡  
ヒクッ

瞬間が、私の  
至上の幸福なんです  
出し散らかされる  
勢いよく  
音が聞こえるくらい  
ひゅっくびゅく  
熱いザーメンを沢山  
押し付けられて、  
先端から子宮の中へ  
マンコの奥の奥まで  
ぐいっつとピツタリ  
して…

でも結局、私は  
本質的にはマゾなので  
チンポで犯されるのが、  
一番好きです  
男の人に押さえつけられ  
入きな体の下に敷かれ、  
マンコをマンコに  
突っ込まれて、  
そこばこ激しくピストン  
されるのが大好きです



リーザ!  
愛してる…  
わ、  
私も…  
ふっ

でも、大抵はそのあと  
まだ複数回セックスがあるので  
夢を見ている場合じゃないですね  
ほんとにもう私…  
幸せすぎて死んじゃいそう…



んん…♡  
ん

んむ…

んん…♡  
んん…♡

激しさの後は静けさ…  
まだお腹の中でとくんとくん  
脈打ってるチンポの温もりを  
感じながら…体をゆっくりと  
絡ませて睦みあいます

この時また私は精神を研ぎ澄まし、  
彼の心の中へと降りていきます…  
そこに確かな温もりと、  
愛があることを見つけると  
私の体は言い表せないほどの  
幸せに包まれます…  
この時眠りに落ちると、いつも  
いい夢が見られるんですよ…



私がアララトスへ…

この宿に来てから半年が過ぎようとしています  
もうすぐ調教の契約期間が終わり、シルバーノアから迎えが来ます…

その最後の三日間、私は送別会…  
乱交パーティー…  
招かれました



おいおい  
始まる前から一人で  
盛り上がりつつあってえ  
なあ？

あつ、す  
スイマセ…っ

こっから  
休みなしなんだぞお

ま、待ちきれなくて  
それまでちよつと…っ  
オナニーをつてっ♡

と、止まらな…

俺が  
揃うまでオナツとけ  
って言った



さあリーザちゃん！  
君のために皆  
来てくれたんだからね

ホラ、始める前に  
何か言って

主催は、  
私の常連客さんたち  
皆で代金を出し合って、  
私を三日間『貸切り』で  
買ったそうです。  
これから三日間  
私はこの部屋の中で  
閉じ込められて、  
ひっきりなしに皆さんの  
相手をして回ります…  
ラストスパートだもの…  
頑張らなくちや！



えーと、  
み、皆さん、本日は  
ありがとうございますっ

ンッ♡

そして、今まで  
ありがとうございました  
ございましたっ！

本日は、私の体で思い出を  
確かめあうと共に  
皆様の温かなザーメンで  
私の門出を祝福してくださいっ

え、えへ

よし、いいだろ！  
そいじや始めるかあ！

ほーら  
お待ちかねの  
チンポだよ

もうこんな硬つくて  
私う、うれしいっ…  
いただきませす♡

あはっ♡

イロ！



んあああは♡

おっ…と。ちよつと挿れただけでイクのか…

すでに大分出来上がってたからなあ…ほら、頑張ってくれよっ

ハッ♡

あっ♡♡

はああっ♡  
くううう

締め付けはいいぜえ、コレ

リーザは男の肉棒を代わる代わる、次々挿入され乱暴に精液を膣に吐き出されていった。口も、手も、胸も、尻も同様に使われ

男の精を次々搾り取る。その全身便器つぷりは、確かにリーザが理想の娼婦として完成した事の証左のようでもある

リーザは激しい快楽の波に飲まれながらもふと、今まであまり考えなかったことについて考えを巡らせた…

この宿へとやってきた時の事…その時は自分は何か、重大な思いをもってここへやってきたような気がするが…

突如、膣内へ大量のザーメンが勢いよく吐き出され、リーザの体を快楽の大津波が襲った…思考はその一瞬で、忘却の海に飲まれて消えた

それからリーザは何も考えなかった…まる3日間、リーザはただ体のままに、男達と肉体をぶつけ合い、貪りあった



出るっ♡

ふっ♡

ぐっ



お、アナル動いてる

フーッ

動いてるすっげえ！  
気持ちいいッ

スゴイ  
がんばれ

ん♡







はあ

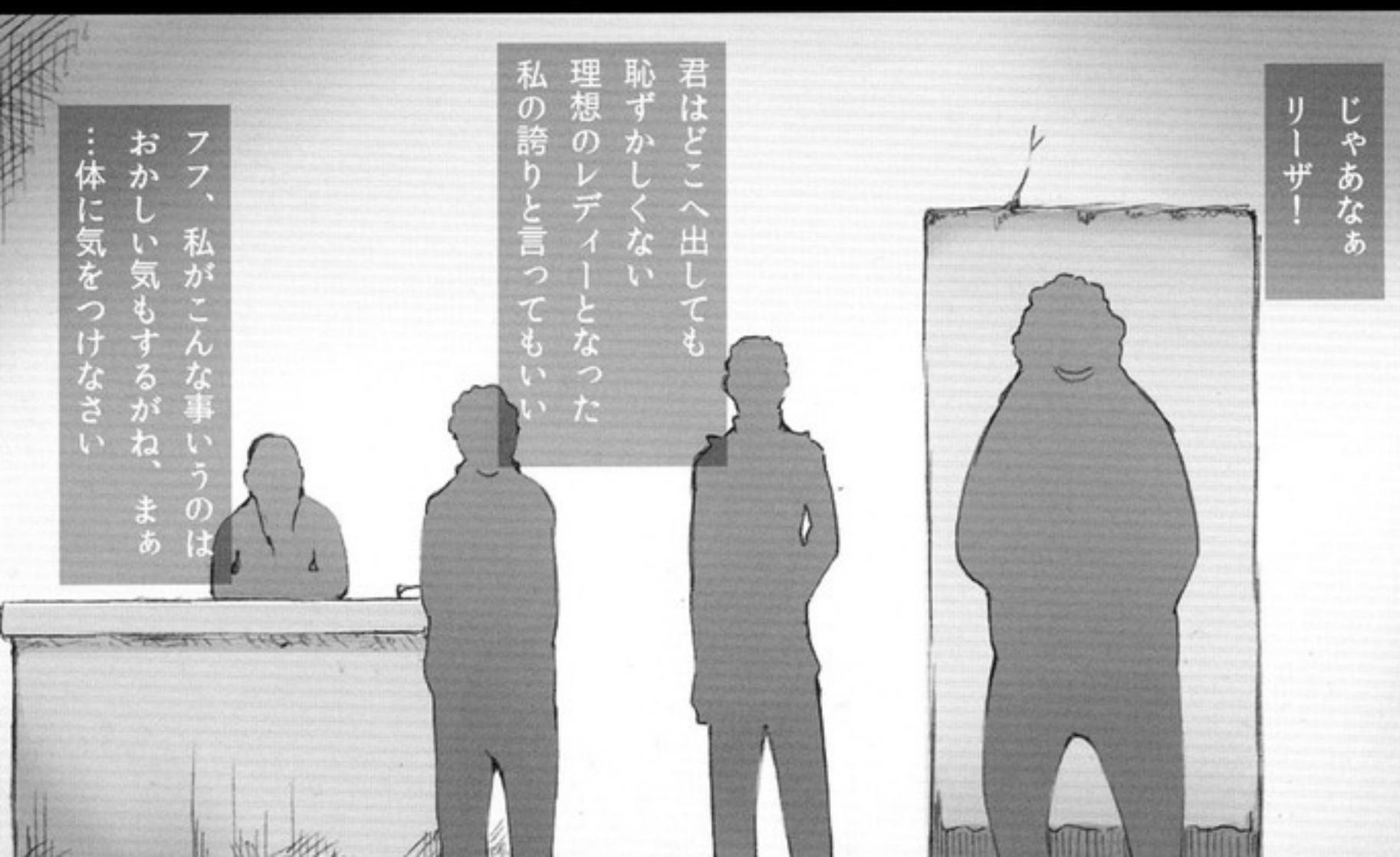
はあ



リーザあ  
達者でやれよっ

君はきつと  
どこ行っても人気者だ

働けなくなったら  
俺んトコこいよ  
…もらってやらあ



じゃあなあ  
リーザ!

君はどこへ出しても  
恥ずかしくない  
理想のレディーとなった  
私の誇りと言ってもいい

フフ、私がこんな事いうのは  
おかしい気もするがね、まあ  
…体に気をつけなさい



出発の日の朝

その後ー

リーザはギルド裏仕事の娼婦として

目覚しい活躍を見せた



透き通る長い金髪、まぶしい白い素肌  
10代の純なる少女そのものの幼げな顔立ち  
それと不釣合いに男を強烈に誘う豊満な肢体

愛らしく、扇情的な姿は  
数多の世界各国の権力者、有力者を引き付け  
そして、契りを結んだそのほとんどを  
彼女の虜とした

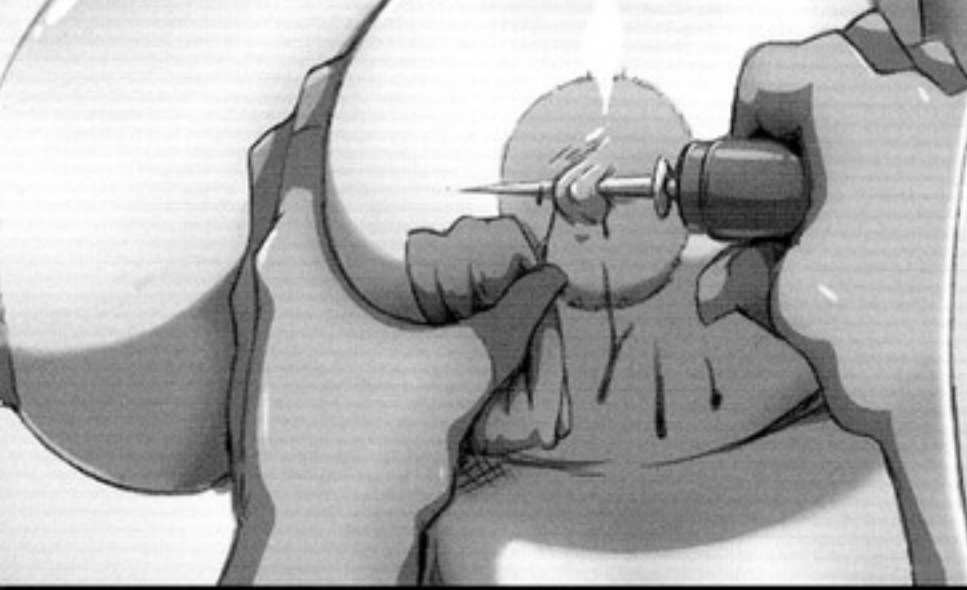
ありとあらゆる要求、要望に応え  
さらには口に出さない望みの行為をも  
まるで内心を知っているかのように察して、  
提供してくれる…  
決して拒まず、逆らわず、  
常に男を立て、笑顔絶やさない…



彼女の評判に  
さらなる好色な大物達が集まり  
彼らとアークへと繋ぐ  
多くのコネクションを作り上げた

しかし、連日連夜の  
ハードスケジュール  
さらに理不尽そのもの  
といえる過酷な依頼も  
全て受け入れ、肉体を酷使する…  
その精神が狂わんばかりの  
淫獄の中で、光を失わず  
輝き続ける彼女の心は  
一体何を秘めているのだろうか…

リーザは今日も  
男の腕の中にいる…  
どんな依頼も  
しゃにむに応じ、  
こなし続けるリーザ…  
万人に向けられる  
温かな笑顔のその裏の、  
本当の心の内は、  
誰も知らない…



…ん



夢…

いつの間に  
寝ちゃってたのね…

私…



ただの色情狂だし…

もう私…  
このまま……



それに…  
答えなんてとつくに  
分かってるじゃない  
どうせ私なんて…

終わってるわね…  
ほんと…

はあ…  
寝ても覚めても、頭の中  
セックスのことばかり



ごめんね  
少しだけ…



…ごめん



エルク…



…私も、  
もう少しだけ



…  
うん  
感じる…  
心の世界に広がる闇のどこから  
あなたの鼓動が…  
出口を探して、迷っているのね…  
…でも確かに、歩いている  
今でもずっと頑張ってるのね



…  
こんな穢れた手で  
あなたに触れることを  
許してください…  
そして、少しだけ  
あなたの心を…  
弱い私に、少しだけ  
勇気を…



…エルク。



ええ！  
ありがとうございます！  
ございます！  
ククルさんっ  
チークも！

達者でナ-

リーザ、昨日より  
なんだか  
元気になったわね

よかった…



それじゃあ  
元気だね！

またいつでも  
遊びに来てちょうだい



行ってきます！

# あとがたり

この度はクッソ長いお話をご購読下さいまして誠にありがとうございます。

今回のあとがきはウチがかつて出してきたリーザ本の内容を総括して後語的なことをしてますので、特に興味ない方や初見だからよう分からんという方は適当に流して下さい。

うちのリーザ本もかなりのシリーズを重ねてきました。今回は割とその集大成とも言える内容で、うちのリーザは何故体を売っているのかと、リーザの心の中を描きました。この辺の設定としては前から考えてあったものですが、いざ描いてみると結構辛気臭い感じになりましたね…

こんな感じのお話をずっと描いてきたのは、本編のメインカップリングであるエルク×リーザに私があんまり萌えないからというところから始まりまして、かといってエルクとリーザを完全に脈なし疎遠にってしまうのもなんかイメージと違う感じがいたしましたので、こういう設定に落とし込みました。あと、細かいトコですがリーザはエルクの事を好き好きって感じだけどエルクはリーザに対して、まあそんなでもない、って感じが良いという、俺の中でヨグワナ付ドネ

『アークザラッド』の本編のお話と照らし合わせますと、基本的にはゲーム版を踏襲して、漫画やアニメの設定もちよいちよい掻い摘んで混ぜてあります。進行具合としてはガルアーノ討伐・ブラキア・フォーレス開放～ミルマーナ海底油田攻略、の間くらいのお話です。ちなみにこの後海底油田攻略後に前作『ホルンの魔女捕まえた』のお話があります。他の作品の時系列はまだ分かりません。まあ考えても無いという

リーザ本の今後の事も考えてありません。まあ『リーザお姉ちゃん』の後編を描くというのがありますが…『ホルンの魔女』後リーザがどうなっているのかとか、幾らかは考えてたりしますがまあまともじゃないことになりそう。

もう纏まらなくなってきたので今回はこの辺にいたしとうございます。ご意見ご感想、またはアーク雑談ネタなど、ツイッタに常駐していますので飛ばして頂けると嬉しいです。それでは、また何かの機会にお会いいたしましょう。

書いた人：tokyo

リーザオリジン

発行日：2016/05/21

発行元：G R E A T 芥

著者：tokyo

H P：http://acta.sblo.jp/

twitterID：Yurukage

印刷：ねこのしっぽ様